

平成 29 年度 事業報告書

社会福祉法人幸会

特別養護老人ホーム幸園

ショートステイ幸園

介護予防ショートステイ幸園

特別養護老人ホーム大野台幸園

ショートステイ大野台幸園

介護予防ショートステイ大野台幸園

グループホーム幸園

居宅介護支援センター幸園

居宅介護支援センター大野台幸園

デイサービスセンター幸園

介護予防デイサービスセンター幸園

デイサービスセンター第二幸園

介護予防デイサービスセンター第二幸園

ヘルパーステーション幸園

介護予防ヘルパーステーション幸園

さいわい保育園

大野南地域包括支援センター

上鶴間地域包括支援センター

目 次

1. 社会福祉法人幸会 事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1, 2P
2. 組織運営（理事会・評議員会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～4P
3. 幸会・・・5, 6P
 - I はじめに
 - II 基本方針
 - III 幸会の基本理念
4. 各事業所報告
 - 特別養護老人ホーム幸園
 - 介護課・・・7～11P
 - 1 支援について
 - 2 年間入所者数
 - 3 職種別職員数
 - 4 事業実施報告
 - 5 職員会議、職員研修実施報告
 - 6 事故報告
 - 7 苦情報告
 - 8 入退所報告
 - 9 その他
 - 幸園短期入所生活介護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12～14P
 - 1 総括
 - 2 利用者状況報告
 - 3 職種別職員
 - 4 事業実施報告
 - 5 事故報告
 - 6 苦情報告
 - 医務課・・・15～17P
 - 1 平成 29 年度の事業計画目標に対する報告
 - 2 健康管理について
 - 3 機能訓練について
 - 4 研修会の実施
 - 5 各委員会
 - 6 感染症対策
 - 7 地域看護実習指導
 - 8 看取りについて
 - 栄養課・・・18～24P
 - 1 総括
 - 2 月別食数状況
 - 3 職種別職員数
 - 4 年間行事食実施報告
 - 5 職員研修
 - 6 その他

特別養護老人ホーム大野台幸園・・・・・・・・・・・・・・・・・・25～30 P

- 1 総括
- 2 入居状況について
- 3 職員の状況
- 4 年間行事実施内容
- 5 職員研修
- 6 職員会議
- 7 防災訓練
- 8 健康管理
- 9 機能訓練
- 10 衛生管理
- 11 苦情相談
- 12 事故等
- 13 地域との連携

短期入所介護事業大野台幸園・・・・・・・・・・・・・・・・・・31～34 P

- 1 総括
- 2 年間利用者数
- 3 職種別職員数
- 4 年間行事実施内容
- 5 職員研修
- 6 職員会議
- 7 防災訓練
- 8 健康管理
- 9 衛生管理
- 10 苦情・相談
- 11 事故等

グループホーム幸園・・・・・・・・・・・・・・・・・・35～38 P

- 1 総括
- 2 年間入所者数
- 3 入所者介護度別
- 4 入所者年齢別
- 5 資格別職員数
- 6 年間行事実施内容
- 7 職員研修
- 8 事故報告
- 9 職員健康診断
- 10 職員会議
- 11 避難訓練
- 12 研修生受入れ
- 13 自己評価と外部評価

14 運営推進委員会	
15 ボランティア	
居宅介護支援センター幸園	・ ・ ・ ・ ・ 39, 40 P
1 総括	
2 年間担当件数	
3 職員数	
4 職員研修	
居宅介護支援センター大野台幸園	・ ・ ・ ・ ・ 41, 42 P
1 総括	
2 年間担当件数	
3 職員数	
4 職員研修	
5 苦情、事故報告	
デイサービスセンター幸園	・ ・ ・ ・ ・ 43～45 P
1 総括	
2 利用者数	
3 職種別職員数	
4 年間行事实施内容	
5 事故・苦情報告について	
6 その他	
デイサービスセンター第二幸園	・ ・ ・ ・ ・ 46～48 P
1 総評	
2 年間利用者数	
3 職種別職員数	
4 年間行事实施内容	
5 その他	
ヘルパーステーション幸園	・ ・ ・ ・ ・ 49～51 P
1 総括	
2 事故・苦情相談受付	
3 健康管理	
4 福祉有償運送	
5 研修	
さいわい保育園	・ ・ ・ ・ ・ 52～55 P
1 保育園概要	
2 事業内容	
3 会議	
4 行事職員関係	
5 職員研修	
6 防災関連	
7 一時保育事業	
8 園外保育	

- 9 保育参観
- 10 食育活動
- 11 健康
- 12 その他
- 13 ご意見・苦情等の件数
- 14 備考
- 15 職員について

大野南高齢者支援センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56～64 P

- 1 人口および高齢者人口
- 2 地域の特徴
- 3 地域における課題
- 4 活動内容
- 5 会議・研修
- 6 結果及び評価

上鶴間高齢者支援センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65～70 P

- 1 基本目標
- 2 基本方針
- 3 活動内容
- 4 業務体制

本部組織

社 会 福 祉 法 人 幸 会	
所在地	神奈川県相模原市相模大野9丁目12番22号
代表者	理事長 草薙喜義
設立認可年月日	平成9年12月10日
設立登記年月日	平成9年12月12日

不動産の所有状況

不動産の所有状況	所有			面積
	不動産	土地	基本財産	特別養護老人ホーム幸園敷地 相模原市相模大野9丁目12番地22号
第二幸園の敷地 相模原市上鶴間6丁目1-30				568.42 m ²
特別養護老人ホーム大野台幸園敷地 相模原市南区大野台3-14-11				7,776.70 m ²
建物		基本財産	相模原市相模大野9丁目12番地22号	3,470 m ²
			相模原市上鶴間6丁目1-30 第二幸園	341.00 m ²
			相模原市南区大野台3-14-11	5,463.35 m ²

事業

社会福祉事業	種類及び名称	所在地	事業開始年月日	定員
第1種	特別養護老人ホーム幸園	相模原市南区相模大野 9-12-22	平成11年4月1日	54
第2種	老人短期入所事業 幸園	相模原市南区相模大野 9-12-22	平成11年4月1日	16
	デイサービスセンター幸園		平成11年4月1日	40
	訪問介護事業 ヘルパーステーション幸園		平成12年4月1日	
	デイサービスセンター第二幸園	相模原市南区上鶴間 6-1-30	平成15年5月1日	40
	グループホーム幸園	平成15年5月1日	27	
第1種	特別養護老人ホーム大野台幸園	相模原市南区大野台 3-14-11	平成25年4月1日	120
第2種	ショートステイ大野台幸園	相模原市南区大野台 3-14-11	平成25年4月1日	20
	さいわい保育園	相模原市南区相模大野 9-15-36	平成23年4月1日	90
公益事業	居宅介護支援事業 居宅介護支援センター幸園	相模原市南区相模大野 9-12-22	平成11年10月1日	
	居宅介護支援センター大野台幸園	相模原市南区大野台 3-14-11	平成27年10月1日	
	有償輸送		平成18年5月1日	

公益 事業	地域包括支援センター 大野南地域包括支援センター	相模原市南区相模大野 3- 1-33丸徳ビル1F7号	平成18年4月1日	
	上鶴間地域包括支援センター	相模原市上鶴間本町 6-28-14	平成26年4月1日	

組織運営

1 理事会

社会福祉法人幸会の運営、執行機関として、事業所及び予算・決算その他重要な事項の審議執行をはかる。理事会5月、6月、10月、12月、2月、3月に開催した。

役員

任期 平成29年4月1日～ 2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに 関する定時評議員会の終結時	
理事長	草薙喜義
理事	今井徹
理事	大塚亮一
理事	篠崎三郎
理事	白井多喜子
理事	草薙みや子
監事	古谷田紀夫
監事	野々山英樹

特別養護老人ホーム幸園施設長	草薙喜義	法令等に定める資格の有 全国社会福祉協議会 施設長研修受講終了
特別養護老人ホーム大野台幸園施設長	草薙みや子	法令等に定める資格の有 全国社会福祉協議会 施設長研修受講終了 ユニットケア管理者研修 受講終了

平成29年度理事会

開催月日	開催	決 議 事 項
平成29年 5月17日	特別養護老人ホーム幸園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度事業報告について ・ 決算報告及び監事監査報告について ・ 第三者委員会報告について ・ 社会福祉充実計画について ・ 夏季賞与について ・ 銀行の借入金について ・ 銀行返済の借り換えについて

		<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度介護職員処遇改善手当について 改修事業補助について 新理事・監事候補者の推薦について 定時評議委員会の招集について 理事長からの短期借入れについて 大野台幸園の訴訟経過報告
平成29年 6月8日	特別養護老人ホーム幸園	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選定について 規程の変更について
平成29年 10月5日	特別養護老人ホーム幸園	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度修正報告、平成29年度中間会計報告について 企業主導型保育園の設立について 保育園監査報告と改善について 労働局指導について 規程変更について
平成29年 12月5日	特別養護老人ホーム幸園	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度上半期会計報告と第一次補正予算案について 冬季賞与について 企業主導型保育園の設立について 上記事業追加による規程変更について 特養 空調設備改修について 第二 ボイラー設備改修について 特養・大野台 特殊浴槽の購入について 銀行借入れについて
平成30年 2月20日	特別養護老人ホーム幸園	<ul style="list-style-type: none"> 特養 空調設備改修工事について 大野台さいわい保育園の設立について 理事長借入れについて 銀行借入れについて 供給電力会社変更について
平成30年 3月27日	特別養護老人ホーム幸園	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業計画案について 平成30年予算計画案について さいわい保育園への返済と銀行借入れについて 法人・特養の監査結果報告

2 評議員会

社会福祉法人幸会の運営、諮問機関として、事業所及び予算・決算その他重要な事項の審議執行をはかる。評議員会6月に開催した。

任期	
平成29年4月1日～6年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結時	
評議員	草薙 哲
評議員	石川 悦男
評議員	小原 義江
評議員	甘利 悟
評議員	原 康雄
評議員	山本 澄子
評議員	義澤 千歳

平成29年度評議員会

開催月日	開催	決 議 事 項
平成29年 6月8日	特別養護老人ホーム幸園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度事業報告について ・ 決算報告及び監事監査報告について ・ 第三者委員会報告について ・ 理事・監事の選任について ・ 役員及び評議員の報酬等の支給基準について ・ 役員の報酬について

3 監事

平成29年4月1日～ 2年以内に終了する会計年度のうち最終のもの に関する定時評議員会の終結時	
監事	古谷田紀夫
監事	野々山英樹

はじめに

平成29年度は、繰り返された介護報酬改定による厳しい法人運営を余儀なくせざるを得なかったが、それにもかかわらず稼働率の向上や利用者の拡大により各事業所が頑張った年度でありました。家賃の高い大野南包括支援センターを特殊的例外とすれば、昨年度初めて赤字に陥ったグループホームが復活し、一昨年創設した大野台居宅介護支援センターも黒字化の目途がつけました。また、長年赤字続きの第二デイサービスセンターは今年度上向きへと転換し、居宅介護事業所とヘルパーステーションは安定した運営ができました。とはいえ、厳しい運営状況にあることは間違いありません。

というのも、創設以来20年を経過した特別養護老人ホーム幸園の施設の改修等が山積しています。ガスヒートポンプ（GHP）冷暖房器の全面改修、ボイラーの交換、内外装の補修等多くの改修工事に必要に迫られています。同様に、第二幸園の改修の必要性も迫っています。それらは今後、法人にとっての大きな財政負担となります。

そして、最大の課題は雇用であります。厚生労働省によれば、2025年には38万人、2035年には79万人の介護職員が不足すると言われていています。平成29年度は、あらゆる媒体を通じて職員募集をしても一本のアクセスもないことが珍しくありませんでした。人材不足は前年度よりはるかに厳しい状況にあります。そのため、幸会では多くの派遣人材を導入せざるを得ず、それによって人件費は前年度よりも増加してしまいました。

そうした厳しい状況をもたらした最大の要因は、相模原市の、とりわけ南区の状況が人材不足を増幅しているからであると思われます。市内には40近い特別養護老人ホームが創設され、倒産するものもあれば次々と新設されるデイサービス、五年前の倍に増えたグループホーム、極め付きは、サ高住を含めた有料老人ホームの乱立である。幸園の周辺でも6つの施設が造られ、3つの施設が建設中で、2つの施設が計画中である。こうした様々な施設の増設が極端な人材不足を起こしているといえます。

しかしながら、人材不足を嘆いているだけでは問題は解決できません。今年度着手した内閣主導型事業所内保育所を速やかにオープンして法人の付加価値を高め、職員の増強を図らなければなりません。また、福祉機器を活用し、ロボットを導入して労働生産性を高め、AIやITを用いて質の高い介護を追求する事が必要です。

さらに、目を世界に向け外国人の雇用も考えなければなりません。インドネシア、フィリピン、そしてベトナムなどでは日本での介護職を希望する若者が数多く存在します。とりわけ、こうした東南アジアの若者は日本で介護実習生と働くために熱心に日本語を勉強しています。こうした人材を活用し、教育し、やがては自国の介護の中心的役割を果たせるようにすれば幸いであると思います。

Ⅱ 基本方針

- (1) 幸会の定款の第一条には「多様なサービスがその利用者の意向を尊重して総合的に創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的」とあります。あくまでも、利用者本位に、その尊厳を尊重し、自立した生活を営めるよう創意工夫して支援すること基本とします。
- (2) 定款三条には、福祉事業を「確実、効率的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進につとめる」とあります。まさに、安心できる福祉サービスを提供し、その質の向上を図るためにも経営基盤を確保し、健全で、計画的な運営を推進する必要があります。

Ⅲ 幸会の基本理念

1. 「尊厳」
2. 「自立」
3. 「プライバシー」
4. 「自己発達」

幸会では基本的な理念、「人間の尊厳」を尊重することを大切にしています。人は生きていくからこそ存在し、価値がある。感じ、喜び、泣き、笑うからこそ存在していると考えます。また、人は自分で考え、判断し、行動することで人は自分自身の主人であると考えます。人は誰でも公的領域と私的領域を併せ持っています。施設での生活では私的領域が脅かされがちであります。そのことを常に忘れずプライバシーを尊重します。そして人は誰でも、自分を高めたい、広げたい、大きくなりたい、友達を作りたいと思うものです。それらに興味や関心を失うのは、そのための条件が見出せなくなってしまうからです。私たちは「自己発達」を促す条件を整えたいと考えています。

平成 29 年度 特別養護老人ホーム 幸園

事業報告書

1. 支援について

4つの理念のもとに、利用者個々の持てる能力を見だし、できるだけ自立した生活が送れるよう、また生活歴・生活習慣等を理解し、個別ニーズにそった施設生活が送れるように支援した。そして、「家庭的なやすらぎ・暖かさ」を感じていただき、暮らしの中でできるだけたくさんの楽しみ・喜びを持ち生活できるよう支援した。

2. 年間入所者数（各月末の人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者	54	53	53	54	54	53	54	54	54	53	54	54	—
入所者		1	3	1	1		1				1		8
退所者		2	3		1	1					1		8

3. 職種別職員数（平成 30 年 3 月 31 日）

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	看護職	ケアワーカー	機能訓練指導員	管理栄養士	合計
常勤	1		2	1	2	23	1	2	31
非常勤		2			2	7			9
合計	1	2	2	1	4	30	1	2	40

4. 事業実施報告 P. 2

5. 職員会議、職員研修実施報告 P. 4

6. 事故報告 P. 4

7. 苦情報告 P. 4

8. 入退所報告 P. 5

9. その他 P. 5

医務課事業報告 別紙のとおり

事業実施報告

○ ケアプラン

グループ担当制を実施し、全ての利用者に対して、本人の身体的・精神的希望、家族の要望を考慮して、介護支援専門員がケアプランを作成、ケアプランに基づくサービスを提供した。また、介護支援専門員によるケアプランの管理を実施した。

○ 身体拘束廃止に向けて

神奈川県身体拘束廃止推進モデル施設として身体拘束廃止の推進に努めた。

○ 感染症対策

法人全職員で感染症予防に努め、本年はノロウイルス、インフルエンザともに発症者はいなかった。

○ 研修の受け入れ

社会福祉法人として介護・福祉・教育関係の実習生を積極的に受け入れた。また、医療の部門における看護師実習の受け入れを行なった。

・ 未来大学より社会福祉士ソーシャルワーク実習 1名

・ 県立高等学校福祉科「介護福祉士養成」実習 2名

他、近隣の中学校、高等学校の体験授業、ボランティア等の受け入れを行なった。

○ 地域交流

以下の取り組みにより、地域との交流を深めることができた。

・ 地域ボランティアによる手芸クラブでの小物作りやエアロビクス講師による指導

・ さがみはらふれあいハートポイント事業による近隣ボランティアの受け入れ

・ 近隣の住民への働きかけは、納涼祭等の行事参加へお誘いした。

・ 東林地区内の3病院、3施設を中心にしたネットワークに参加し、医療、介護の連携を図り、共催の研修会、勉強会を行った。

○ 看取り介護

現在の医療体制での看取り介護の実施はなかった。

○ 家族会

・ 納涼祭、敬老会、クリスマス会などの行事等を通じてご家族、利用者、職員の交流を図った。

・ 懇親会を兼ねた試食会、バスツアーを開催し、施設サービスについての相互理解を図り、良い施設づくりにともに歩むことができた。

・ 6月、11月には家族会、OB会の皆様の協力を得て、2.3階の花壇、垣根の整備を行った。

○ 消防訓練

11/30・2/26 夜間を想定した通報訓練、消火訓練、避難誘導訓練を行なった。

○ 防犯訓練

本年度より、不審者・侵入者に対する危機管理、施設内の防犯設備の点検等を目的とした訓練を行うこととし、第1回目を1/18に行った。

○ 行事实施報告

(1) 年間・月間行事

誕生日会	4/22、5/27、6/24、7/22、8/23、9/23、10/28、11/25 12/23、1/27、2/24、3/24
ホーム喫茶	4/8、5/13、6/10、7/8、8/12、9/9、10/14、11/11 1/13、2/10、3/10
外出	4/6、5/17、6/16、8/6、10/20、11/17、3/29、
納涼祭	8/27
敬老会	9/17
クリスマス会	12/17

(2) アクティビティ

エアロビクス (利根川Kスタジオ講師による) 月2回 (第2・4水曜日)

歌のボランティア 月1回 (第3木曜)

他、機能訓練指導員、介護職員により、絵手紙、習字、カラオケ、ゲームなど行った。

職員会議報告

- ・職員全体会議 年1回
- ・特養職員会議 月1回
- ・ワーカー会議 月1回
- ・事故防止対策会議 月1回
- ・人権擁護会議 年8回 (検討事案が生じた時に随時開催した)
- ・褥瘡予防対策会議 月1回
- ・感染症予防対策会議 月1回
- ・入退所検討会議 月1回
- ・給食会議 月1回
- ・リーダー会議 月1回
- ・サービス担当者会議 随時

職員研修報告

(1) 施設内研修

- ・特養職員研修 (全員参加またはレポート提出)
 - 介護保険と当該サービス 4月
 - 感染症対策 (食中毒) 5月
 - 事故防止対策・褥瘡予防対策 (マニュアル) 6月
 - 介護技術 (腰痛予防対策) 7月
 - 褥瘡対策 (身体にかかる圧の影響と対策) 7月
 - 拘縮について 7月
 - 倫理及び法令遵守・プライバシー保護 9月
 - 認知症の基礎知識 9月
 - 高齢者虐待防止・身体拘束廃止 10月
 - 医療 (薬の知識) 10月
 - 感染症対策 (ノロウイルス、インフルエンザ) 11月
 - 介護技術について 11月
 - 事故防止および緊急時の対応 2月
 - 重度・ターミナルに関する研修 3月
- ・新人研修 (感染症・事故・当該サービス・施設理念) 4月

(2) 施設外研修

・認知症介護実践者研修（神奈川県）	2回	2名
・認知症介護実践者リーダー研修(神奈川県)	1回	1名
・介護支援専門員研修（相模原市）	3回	1名
・感染症予防研修（神奈川県）	1回	1名
・高齢者虐待防止研修（相模原市）	1回	1名
・介護保険施設等看護研修Ⅰ（神奈川県）	1回	1名

事故報告

内 容	件 数	件数のうち相模原市に報告した件数
転 倒	23	5
転 落	31	2
誤 薬	7	0
器物破損	5	0
紛 失	2	0
異 食	4	0
誤 嚥	5	1
自虐行為	0	0
その他	48	1
合 計	125	9

- (1) 事故件数 125 件
受診を伴った事故件数 9 件
相模原市への事故報告 9 件

【相模原市に報告した事故の内容】

- ① 転落：バランスを崩し車椅子から転落し前額部に擦り傷（受診結果異常なし）
- ② 転倒：バランスを崩し尻もち、後頭部に1.5cmの傷（傷の手当をする）
- ③ その他：職員により耳かき中に出血（耳鼻科で傷の手当）
- ④ 転倒：食席で立ち上がり転倒（左大腿骨骨折で手術し入院）
- ⑤ 転倒：ソファから立ち上がり転倒（右肘頭部骨折）
- ⑥ 誤嚥：食事介助時誤嚥で救急対応（誤嚥性肺炎で入院）
- ⑦ 転倒：居室で転倒（右大腿骨骨折で入院）
- ⑧ 転落：ベッドに端座位でずり落ちる（左大転子部骨折で入院）
- ⑨ 転倒：バランスを崩し転倒（肋骨にヒビ）

- (2) ヒヤリハット件数 55 件

苦情報告

苦情受付件数 3 件

【苦情内容】

- ① 対応関係：看護職員が暴力を振るうのを見たという匿名の電話があった。名札から当日のみの派遣職員であることが判明し派遣会社に調査を依頼したが、当人が否定しているとの回答で真相把握に至らなかった。
- ② 対応関係：通院に同行する職員に対する苦情。毎月の通院の都度、介助が必要な状態であるのに、待合室で利用者を高齢のご家族に任せ、離れた席でテレビを見ている、診察室の出入りを手伝ってくれない。⇒同行職員を指導し改善した。
- ③ 説明・情報に係わるもの：ペット連れのご家族を1階談話室に通し、あとから面会に来た他のご家族に、ペットの持ち込みは禁止と聞いているのにどういことかとお叱りを受ける。⇒案内した職員を指導し、他職員にも周知した。

入退所報告（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

新規入所者	8 名	退所者	8 名
【入所前居所】		【退所理由】	
在宅	5 名	死亡	1 名
介護老人保健施設	3 名	医療機関入院	6 名
		療養型入所	1 名

利用者状況報告（平成 29 年 3 月 31 日現在）

【介護度】

介護度	男性	女性	合計	全入所者に占める割合
要介護 1	0	0	0	0%
要介護 2	0	2	2	3%
要介護 3	2	6	8	15%
要介護 4	7	13	20	38%
要介護 5	6	18	24	44%
合計	15	39	54	100%

【平均年齢/利用期間】

	平均年齢	平均利用期間
男性	82.7 歳	46.5 ヶ月
女性	91.4 歳	55.8 ヶ月
合計	89.0 歳	53.2 ヶ月

【平均介護度の推移】

2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29
3.58	3.10	3.51	3.58	3.53	3.73	4.00	3.85	3.96	4.22

入所待機者報告（平成 29 年 3 月 31 日現在）

要介護 3～5 105 名
特例入所 0 名

以上 報告いたします。

平成 30 年 4 月 1 日 生活相談員 中村幸枝

平成 29 年度 幸園(予防) 短期入所生活介護 事業報告書

1. 総括

地域において、施設の新設、サービス事業者の増加によりご利用者数の低下が続いている。本年度は地域の病院より積極的に新規のご利用者を受け入れるなど、新規利用者の確保に努め稼働率を維持した。

2. 利用者状況報告

(1) 介護度別利用者数

	男性	女性	計
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	8	8
要介護 1	40	227	267
要介護 2	188	781	969
要介護 3	760	664	1,424
要介護 4	465	877	1,342
要介護 5	226	783	1,009
計	1,679	3,340	5,019

(2) 利用者平均年齢 85.3 歳 男性 83.0 歳 女性 86.5 歳

(3) 月間稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度計
延人数名	400	431	400	420	445	409	446	387	413	435	403	438	5,019
稼働率%	83%	87%	83%	85%	90%	85%	88%	80%	83%	85%	90%	88%	86%

3. 職種別職員

	管理者	医師	生活 相談員	介護支援 専門員	看護師	ケアワ ーカー	機能訓練 指導員	管理栄養士	合計
常勤	1		2	1	2	23	1	2	31
非常勤		2			2	7			9
合計	1	2	2	1	4	30	1	2	40

4. 事業実施報告 P. 2

5. 事故報告 P. 2

6. 苦情報告 P. 3

4. 事業実施報告

- ケアプランに基づくサービス提供体制の確立
居宅介護支援計画に基づいた短期入所生活介護サービス計画を作成し、それに基づいたサービスを提供するように努めた。
- 様々なニーズへの対応に努めた。
医療的ケアの必要な方もできる限り受け入れた。（在宅酸素、透析、インシュリン等）

○ 行事实施報告

① 年間・月間行事

誕生日会	4/22、5/27、6/24、7/22、8/23、9/23、10/28、11/25 12/23、1/27、2/24、3/24
ホーム喫茶	4/8、5/13、6/10、7/8、8/12、9/9、10/14、11/11、1/13、2/10、3/10
納涼祭	8/27
敬老会	9/17
クリスマス会	12/17

② アクティビティ

エアロビクス（利根川Kスタジオ講師による）月2回（第2・4水曜日）
歌のボランティア 月1回（第3木曜）
他、機能訓練指導員、介護職員により、絵手紙、習字、カラオケ、ゲームなど行った。

- 消防訓練
11/30・2/26 夜間を想定した通報訓練・避難誘導訓練を行った。
- 防犯訓練
本年度より、不審者・侵入者に対する危機管理、施設内の防犯設備の点検等を目的とした訓練を行うこととし、第1回目を1/18に行った。

5. 事故報告

内 容	件 数	件数のうち 弁償があったもの	件数のうち 市に報告したもの
転 倒	16	0	0
転 落	9	0	1
紛 失	3	0	0
誤与薬	2	0	1
器物破損	1	0	0
その他	8	0	1
合 計	39	0	3

- 事故件数 39件
受診を伴った事故件数 3件
相模原市への事故報告 3件

【市に報告した事故の内容】

- ① 誤 薬：ご本人の、朝食後薬と夕食後薬を取り違えて与薬（異常なし）
- ② 転 落：送迎車内での車椅子からのずり落ち。（受診し擦り傷を治療）
- ③ その他：車椅子の肘掛による圧迫（浮腫）

- ヒヤリハット件数 21件

6. 苦情報告

ショートステイサービスに係わる苦情は寄せられなかった。

以上、報告いたします。

生活相談員 中村 幸枝

平成 29 年度 特別養護老人ホーム幸園

医務課 事業報告

1. 平成 29 年度（H29・4・1～H30・3・31）の事業計画目標に対する報告

- *事業計画に基づき、ご利用者の個々の心身の状態把握に努め、往診医との連携を計り、健康管理を行った。
- *常にフィジカルアセスメントを行いながら疾病の早期発見に努め、往診医や病院医師の診断、指示を仰ぎながら体調管理をして、悪化の予防と体調の回復に努めた。
- *各委員会の委員長、委員として活動した。
(感染症対策委員長=森田 Ns、医療的ケア対策委員長=担当者なし)
- *特養の年間研修計画に従い医務課としての研修（感染症、食中毒予防）と、他の研修には助言者として参加した。
- *終末期には他職種と連携をとり、経口維持が出来るように食事形態を変更していきながらそれぞれのステージにあった看護を行なった。4段階に入ると往診医師は病院勤務医師にて幸園での死亡確認が出来ない為、病院搬送または、療養型病院の協力を得て入院となった。
- *機能訓練指導員の指導と計画書に基づき、身体機能の低下の予防と向上に努めた。

2. 健康管理について

- *個々の利用者の体調、健康状態に合わせてバイタルチェックを行い、往診医に報告指示を仰いで管理した。
- *体調が良い方も入浴時は2回/週バイタルチェックを行い体調管理した。

1) 病院受診対応

- ・定期受診は御家族と病院の都合を合わせて、職員付き添いで受診した。
- ・急な病院受診時も御家族に連絡を取りできるだけ付き添って頂き、病院医師からの説明を御家族も聞いて了解の上で治療していくようにした。

① 一年間の病院受診延べ人数

4月	23名	10月	16名
5月	18名	11月	16名
6月	19名	12月	17名
7月	14名	H30年1月	12名
8月	15名	H30年2月	16名
9月	17名	H30年3月	34名
		計	217名

② 入院延べ人数 22名

入、退院では看護サマリーで、病院看護師と情報共有して対応した。

2) 本入所対応 8 名

① 入所時には往診医師の指示の元に入所検診を行い、状態把握し、医務課ナースと往診医師が現病歴や薬、検査データを共有できるようにした。

入所時検診（採血、胸部レントゲン、心電図、尿検査、既往歴のある方は頭 CT、心エコー等）

② 医療についての事前指示書～本入所時、御家族と医師との面談を行い、園での体調管理、病院受診について説明した。御家族の希望等を確認し、希望に添える看護を行なった。また、医療に関する指示書を提出していただき、生命の寿命がきた時、御家族がどのように考えているかを入所時から知る事で御家族の希望に添える看護をめざした。

1) 退所者 8 名（入院死亡退所 3 名、入院から療養型入所の為の退所 5 名）

2) 往診医師の対応

中央病院 筒井医師 毎週木曜日 46 回/年（35 名担当）

月 1 回は全員往診、他は体調不良者の往診

森下記念病院 中上医師 2 回/月

毎回全員往診 24 回/年間）

義澤歯科 毎週火曜日 14 時 45 回/年（1 日平均 12～13 名）

相模皮膚科 依頼時（火曜日 13 時半） 33 回/年（1 日平均 2～3 名）

3) 入所検討

健康診断書の提出を依頼し、体調の把握を行ない、園での生活が可能か、医師と入所検討をして委員会で伝達した。

4) 結核検診 相模原中央病院 22 名

森下記念病院 6 名

5) 薬の管理

①薬の処方～相模原中央病院 4 週/月分ずつ処方を受け取る（東聖薬局）。

森下記念病院は 2 週分ずつの処方を受け取る。（一美薬局）。

③ 臨時薬は、そのつど受け取る。

③ 与薬管理～薬は一回分ずつセットし個人ケースに入れて管理、毎日、朝、昼、夕、眠前薬のケースに入れてダブルチェックした。夜勤者に引継ぎ時、声だしチェックをし、双方で確認し誤薬の予防をした。配薬は朝と眠前は介護職員、昼と夕は看護職員が対応、服薬後チェック表に記入して与薬漏れのないようにした。

8) ショート利用者の受け入れ

体調と、服薬管理を御家族の希望に添いながら行った。退所時には入所中の状態をノートに記載して家族に報告し、連携に努めた。

9) インフルエンザの予防接種について

職員、入所者ともに全員接種を基本とした。

入所者 54 名 (中央病院 34 名、森下記念病院 19 名、つばさクリニック 1 名)

職員 147 名 (森下記念病院対応)

3. 機能訓練について

機能訓練指導員の指導のもとに日常生活リハビリを中心としてADLの拡大と維持の為に食事の自力摂取やトイレでの立位など、介護職員にもリハビリの意識づけを行い、指導した。

介護職員によるリハビリ体操、口腔機能運動、ボランティアによる高齢者エアロビクス、歌ボランティア、手芸、と機能訓練指導員によるなぞり絵手紙、カレンダー作り、習字等、アクティビティを取り入れて指導した。

4. 研修会の実施

5/18 「食中毒について」「感染症マニュアルの周知徹底」栄養課と森田Ns

11/16 「施設における感染症対策の基礎知識～ノロウイルス・インフルエンザについて」CW

5. 各委員会

事故防止対策、人権擁護、褥瘡予防対策、経口維持、入退所検討)のメンバーとしての活動の他、感染症対策委員会(森田Ns)、医療的ケア対策委員会(担当者なしの為活動せず)委員長として活動し、多職種との連携をとり研修等に取り組んだ。

6. 感染症対策

感染症蔓延の経験を踏まえ、早期の対応を行い、インフルエンザ、ノロウイルスの感染予をおこなった。

H29年度のインフルエンザやノロウイルスの流行の中、幸園では入所者のインフルエンザ、ノロウイルスの感染者は無く無事年度末を迎えることができた。

7. 地域看護実習指導

厚木看護専門学校1年生老年看護実習の受け入れ指導については、残念ながら指導者不在のため出来なかった。

8. 看取りについて

当園では看取り対応医師の確保ができていない為、療養型に転院となったが、3/31につばさクリニック対応の入所者が急遽看取り対応となり幸園で看取りを行った。

今後は、看取りが出来る環境を整えていく事が施設として重要であると感じる。

以上、報告します。 H30年3月31日 医務課 森田佐知子

平成 29 年度事業報告書

社会福祉法人 幸会 幸園 栄養課

1. 総括

入居者

- ・食事状況を把握し食べやすく、食べたいと思われる食事であるように努めました。塩分量を少しずつ減らすように調味料の数値を見直しました。
- ・嚥下調整食として適切であるか食材の選択から考え食事に反映させました。
- ・30 年度も継続しておいしい嚥下調整食であるように取り組みます。
- ・年間行事食を計画し、実施しました。
- ・毎月給食会議を実施し多職種との連携をしました。

デイサービス

- ・疾患や嚥下機能、嗜好に配慮して食事を提供しました。
- ・デイサービスの年間行事に沿って食事やおやつを楽しんでいただけるように取り組みました。

配食サービス

- ・9 月までで修了となりましたが、栄養量を満たし、日々食べても飽きないような普通の家庭的な内容と味付けを考え提供しました。
- ・暦の行事食を実施しました。

食中毒予防

- ・感染症対策委員会、施設内研修に参加し、栄養課内での予防に努めました
- ・感染症発生時、感染防止の対策を取り、実施しました。

災害時の備えについて

- ・非常食の賞味期限内に入れ替えを行いました。

2. 月別食数状況

〈特養（長期・短期）〉（単位：食）常食：主食御飯・軟飯 6g以下：食塩6g以下

	4月平均					5月平均				
	常食	粥食	糖尿	腎臓	6g以下	常食	粥食	糖尿	腎臓	6g以下
朝	23.1	30.9	8.0	0.9	1.1	23.0	30.8	8.0	0.7	1.3
昼	24.7	31.4	8.0	0.8	1.2	26.0	31.1	8.0	0.6	1.4
夕	23.2	31.0	8.0	0.9	1.1	23.0	30.7	8.0	0.7	1.3
	6月平均					7月平均				
	常食	粥食	糖尿	腎臓	6g以下	常食	粥食	糖尿	腎臓	6g以下
朝	21.7	30.2	8.1	0.7	1.3	22.9	30.8	8.1	0.5	1.9
昼	23.4	30.6	8.2	0.5	1.4	24.8	31.2	8.1	0.4	2.0
夕	20.9	30.2	8.1	0.7	1.3	23.1	30.8	8.1	0.5	1.9
	8月平均					9月平均				
	常食	粥食	糖尿	腎臓	6g以下	常食	粥食	糖尿	腎臓	6g以下
朝	23.0	29.9	7.6	0.1	2.5	23.7	30.1	7.0	0.6	2.2
昼	25.0	30.5	7.6	0.1	2.6	25.4	30.6	7.1	0.5	2.2
夕	23.1	30.0	7.5	0.1	2.5	23.9	30.1	7.1	0.7	2.2
	10月平均					11月平均				
	常食	粥食	糖尿	腎臓	6g以下	常食	粥食	糖尿	腎臓	6g以下
朝	24.5	29.8	7.1	0.7	2.3	22.7	30.0	7.1	0.6	2.4
昼	26.2	30.2	7.2	0.5	2.4	24.5	30.5	7.0	0.5	2.5
夕	24.5	29.7	7.1	0.6	2.3	22.7	30.1	7.0	0.6	2.4
	12月平均					1月平均				
	常食	粥食	糖尿	腎臓	6g以下	常食	粥食	糖尿	透析	6g以下
朝	21.6	30.5	7.8	0.6	2.4	22.4	31.9	8.0	0.7	2.9
昼	23.3	30.9	7.8	0.5	2.5	24.1	32.1	8.0	0.5	3.0
夕	21.6	30.4	7.8	0.6	2.4	22.5	31.8	8.0	0.6	3.0
	2月平均					3月平均				
	常食	粥食	糖尿	透析	6g以下	常食	粥食	糖尿	透析	6g以下
朝	22.1	30.4	7.1	0.6	3.2	22.3	29.2	8.0	0.7	3.2
昼	24.3	30.8	7.1	0.4	3.3	24.2	29.7	8.1	0.5	3.2
夕	22.4	30.3	7.1	0.6	3.2	22.2	29.2	8.1	0.7	3.2

〈第1 デイサービス〉 (単位：食)

月	実施 日数	平均 食数	月	実施 日数	平均 食数	月	実施 日数	平均 食数
4月	25日	27.3	8月	27日	26.0	12月	24日	25.9
5月	27日	25.3	9月	26日	26.3	1月	24日	25.8
6月	26日	27.5	10月	26日	26.2	2月	24日	24.0
7月	26日	27.5	11月	26日	26.3	3月	27日	24.7

〈第2 デイサービス〉 (単位：食)

月	実施 日数	平均 食数	月	実施 日数	平均 食数	月	実施 日数	平均 食数
4月	20日	24.2	8月	23日	24.0	12月	20日	24.3
5月	23日	23.7	9月	21日	23.6	1月	20日	24.5
6月	22日	22.9	10月	22日	23.0	2月	20日	23.6
7月	21日	23.3	11月	22日	22.8	3月	22日	23.7

〈配食サービス〉 (単位：食)

月	実施 日数	平均 食数	月	実施 日数	平均 食数
4月	16日	12.6	7月	17日	12.8
5月	18日	13.3	8月	18日	12.9
6月	18日	12.4	9月	17日	11.6

3. 職種別職員数

職種 形態	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 人
常勤職員	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
パート等 非常勤職員	10	10	10	8	8	9	9	9	9	9	9	9	109
合計	18	18	18	16	16	17	17	17	17	17	17	17	205

4. 年間行事食実施報告

別紙のとおり

5. 職員研修

別紙のとおり

6. その他

設備・備品などの整備状況

日にち	修理・交換内容
6月7日	スチームコンベクションオープン電源が入らず 修理
10月17日	回転釜（右側）バーナーの交換
11月1日	スチームコンベクションオープン排水管つまりによる水漏れ
1月10日	回転釜（左側）サーモカップル劣化、配線損傷を交換
2月14日	回転釜（左側）ガスロック他劣化部品の交換

4. 行事食実施報告

実施日	行事名	献立内容
4月22日	誕生祝食	かにちらし・青菜の辛子和え・茶碗蒸し・フルーツ
5月5日	端午の節句	筍御飯・かつおのたたき・酢味噌和え・清まし汁・フルーツゼリー
5月14日	母の日	ちらし寿司・まぐろの山かけ・茶碗蒸し
5月27日	誕生祝食	御飯・刺身盛り合わせ・含め煮・味噌汁・フルーツ
6月18日	父の日	御飯・天ぷら盛り合わせ・胡麻酢和え・清まし汁
6月24日	誕生祝食	釜飯・青菜のおひたし・茶碗蒸し・フルーツ
7月7日	七夕	ちらし寿司・含め煮・清まし汁・フルーツ
7月22日	誕生祝食	赤飯・天ぷら盛り合わせ・冬瓜の蟹あんかけ 清まし汁・フルーツ
8月26日	誕生祝食	かにちらし・炊き合わせ・茶碗蒸し・フルーツ
8月27日	納涼祭	焼きそば・焼きおにぎり・焼き鳥・とうもろこし フライドポテト・コロケ・鶏のから揚げ
9月17日	敬老祝賀会	赤飯・天ぷら盛り合わせ・炊き合わせ・清まし汁
9月23日	秋分の日	おはぎ
9月23日	誕生祝食	炊きおこわ・炊き合わせ・おろし酢和え・ 茶碗蒸し・フルーツ
10月28日	誕生祝食	ちらし寿司・鮪の山かけ・青菜のお浸し・清まし汁・ フルーツ
11月25日	誕生祝食	赤飯・刺身盛り合わせ・茶碗蒸し・青菜のお浸し・ フルーツ
12月17日	クリスマス会	サンドイッチ・チキングラタン・南瓜スープ ゼリー
12月23日	誕生祝食 (クリスマス)	シーフードライス・魚のホイル焼き・ クラムチャウダー・フルーツポンチ
12月31日	大みそ日	年越しそば・ふろふき大根・フルーツヨーグルト
1月1・2・3	新年祝賀食	おせち料理
1月7日	七草粥	七草粥
1月27日	誕生祝食	ねぎとろ丼・おろし和え・胡麻和え・茶碗蒸し フルーツ
2月3日	節分	炊き込み御飯・つみれ汁・五目豆・青菜のお浸し・ フルーツ

実施日	行事名	献立内容
2月24日	誕生祝食	御飯・天ぷら盛り合わせ・大根のそぼろあんかけ 味噌汁・フルーツ
3月3日	雛祭り	ちらし寿司・茶碗蒸し・菜の花辛子和え・フルーツ
3月18日	お彼岸	ぼたもち
3月24日	誕生祝食	御飯・刺身盛り合わせ・酢味噌かけ・けんちん汁・ フルーツ

5.平成29年度研修報告

日にち	参加者	研修主催	内容
4月20日	鶴野 太田	幸園（特養研修）	介護保険と当該サービス
5月18日	鶴野 太田	幸園（特養研修）	感染症対策委員会研修会
6月3日	鶴野	日本人間栄養協会	人間健康栄養リテラシー
6月9日	太田	神奈川県栄養士会	臨床栄養セミナーⅠ （口から食べ続けるための技術と応用）
6月16日	鶴野 太田	幸園（特養研修）	事故防止対策委員会勉強会
6月20日	太田	相模原市高齢者福祉施設協議会 特養部会栄養士会第1回研修会	褥瘡の基本 予防と栄養について
6月23日	鶴野	幸園（第二デイ・グループホーム ヘルパーステーション）	食中毒について
7月3日	伊予部	相模原市特定給食施設等管理者及び 従事者講習会	食品衛生について
7月18日	鶴野	相模原市特定給食施設等管理者及び 従事者講習会	災害時における 特定給食施設の役割とは
7月20日	鶴野 太田	幸園（特養研修）	褥瘡予防対策・身体にかかわる圧の影響と対策） 腰痛の原因と予防について
7月29日	鶴野	神奈川県栄養士会福祉事業部研修会	栄養士のアセスメント技術研修会
9月17日	鶴野	神奈川県栄養士会研修会	地域医療構想における栄養情報提供書研修
9月15日	鶴野 太田	幸園（特養研修）	倫理及び法令遵守・プライバシー保護
10月19日	鶴野 太田	幸園（特養研修）	高齢者虐待防止について
10月27日	太田	神奈川県栄養士会研修	KTバランスチャートの活用と支援
11月9日	太田	相模原市高齢者福祉施設協議会 特養部会栄養士会第2回研修会	マナーハウス横山台見学
11月14日	山田	ラショナル、ジャパン	スチームコンベクションオープンを使って 操作方法を学ぶ（卵を使った料理中心）
11月16日	鶴野 太田	幸園（特養研修）	感染症対策（インフルエンザ・ノロウイルス）
11月25日	鶴野	神奈川県栄養士会研修会	高齢者食生活サポート事業講師養成研修会
12月6日	山田	ラショナル、ジャパン	スチームコンベクションオープンを使って 操作方法を学ぶ（焼き物中心）
12月6日	太田	相模原市高齢者福祉施設協議会 特養部会栄養士会第3回研修会	情報交換 栄養ケア・マネジメントについて 加算について 行事食について
12月16日	鶴野	神奈川県栄養士会福祉事業部研修会	生化学から疾病の成り立ちを理解し病態栄養 を学ぶ
1月24日	太田	相模原市高齢者福祉施設協議会 特養部会栄養士会第3回研修会	相模原市の特養施設の栄養士の情報交換
2月15日	鶴野 太田	幸園（特養研修）	平成29年度 事故発生時の対応
2月24日	鶴野	神奈川県栄養士会栄養管理セミナー	魅力ある食支援のための食生活アセスメント
3月15日	鶴野 太田	幸園（特養研修）	重度・ターミナルに関する研修

各事業所報告

平成29年度 事業報告書

特別養護老人ホーム 大野台幸園

事業開始年月日 平成25年4月1日

利用定員 ユニット型介護老人福祉施設 120名

1. 総括

・「笑顔で明るくゆったりとした生活を」の方針に基づいて、ユニットケアによる設えの努力と介護の提供を行った。

開所来からの方の重度化による長期入院や退居者が多かった。退居後の入居も進まず、稼働率が低迷したままであった。

重度化による看取り介護への取り組みについても、考慮して見識を深め早急に体制を整えて行く必要がある。

職員についても、昨年度末、今年度初めの退職者の補充ができず、派遣職員の導入に踏み切らざるを得ず、介護職員の採用に課題を残した。

事故も多発してしまい、事故対応、介護の視点、派遣職員への育成等多岐にわたって、見直しを行い、引き続き平成30年度へ検討、教育の強化を継続していくこととなった。

2. 入居状況について

年間利用者の状況

要介護度別利用人数（平成30年3月31日現在） 平均介護度 4.02

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	1	8	17	5	31
女性	0	1	22	34	31	88
計	0	2	30	51	36	119

年齢別の利用者状況（平成30年3月31日現在）

	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～	計	平均年齢
男性	2	1	8	13	8	0	32	82.44
女性	0	2	11	36	35	3	87	87.79
合計	2	3	19	49	43	3	119	86.35

介護度については 昨年度から0・04上昇平均介護度4.02
年齢については大きな変化なかった

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	2	1	2	1	1	1	5	4	7	1	2	4	31
退去	1	1	2	3	3	2	6	4	2	3	3	1	31

退去者 31名 昨年より13名増加

入居者17名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院者													実人数
	4	4	9	10	10	9	12	8	5	7	8	9	46
入院日数	45	43	134	179	143	119	150	89	71	100	146	150	1369

入院の状況

入院理由	骨折	肺炎	尿路感染	癌	その他	合計
件数	7	17	5	0	32	61

入院者について

一人平均入院日数 約30日 1日の入院者数 3.75人

入院理由 高齢衰弱 10名 肺炎3名 心不全3名 骨折2名 誤嚥1 狭心症・脳梗塞・腹膜ヘルニア・排便ショックなど急性発作による方、とりわけ嚥下困難や高齢衰弱者が増加し、入院者が増えた。

入院後療養型に移られた方や亡くなれた方が退居された。

重度者ケアについて早急に体制を整えていく必要がある。

3. 職員の状況

職種別職員数（平成30年3月31日現在）

職種形態	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	看護師	ケアワーカー	機能訓練指導員	管理栄養士	その他	
常勤	1	0	2	1.5	2	60	1	3	6	
非常勤	0	1	0	0	5	16	0.5	0	5	
合計	1	1	2	1.5	11	86	1.5	3	11	

昨年度末から年度初めに退職者が続出した。その後、職員採用が進まず派遣職員による補充を行い、業務体制を維持した。

4. 年間行事実施内容

	全体行事	ユニット毎の行事
4月		誕生日会、ネームプレート作り、出前寿司、お花見、バスハイク、市立博物館、ピンク色の焼きそば、ファミレス外食、和菓子、
5月		誕生日会、ホットケーキ作り、ハーモニカ演奏ボラ、鯉のぼり見学、焼きそば作り、父の日・母の日を祝う会、買い物&散歩
6月		誕生日会、公園散策、カラオケ、ピザ作り、おやつレク、昼食買いもの、大道芸ボラ、海鮮丼の会、
7月		誕生日会、七夕飾り、かき氷、焼きそば作り、プリンパフェ作り、
8月		誕生日会、そうめん流し、天麩羅、焼き鮎、かき氷、ゲーム、暑中見舞い交換会、パン工場見学、
9月	大野台幸園祭り	誕生日会、外食会、スイカ割、敬老会、紅白まんじゅう、不二家、
10月		誕生日会、焼き芋会、リス園、マクドナルド買いもの、スシロー、音楽会と仮装でハロウィン、中華・洋食デリバリー、4階合同運動会、プリンアラモード作り、
11月		誕生日会、紅葉狩り、焼うどん、出前寿司、ケーキ&寿司、大道芸、サーティーワンアイス、
12月		誕生日会、クリスマス会、オカリナ演奏ボラ、ハンドベル、カラオケ、ビンゴ大会、
1月		誕生日会、おやつ作り、ホットケーキパーティー、おしるこ、書初め大会、
2月		誕生日会、節分、豆まき、
3月		誕生日会、ひな祭り、餃子パーティー、焼きそば、お好み焼き、夢庵、チョコフォンデュー、雛あられ、

年1回の全体行事として、9月に第5回大野台幸園祭りを、地域の方も多く参加していただき賑やかに開催できた。

- ・2月 100年もののお雛様を皆で飾り楽しんだ。

ユニット行事 それぞれのユニット毎に趣向を凝らして実施した

自由参加レクリエーション

- ・おはよう体操・・・平日毎朝30分 希望者参加で交流を深めている。
- ・二胡と歌の会（リトミック） 体を動かしながら大きな声をだし、歌う。
5/10、6/7、7/5、8/2、9/6、10/4、11/1、12/6、1/10、3/7、
- ・ハーモニカと歌う演奏会
4/19、5/2、5/7、7/7、9/11、9/22、11/1、12/1、
- ・ドックセラピー、凧ちゃんと遊ぼう セラピー犬凧ちゃんに触れたり、抱いたりして、穏やかな、ひと時を過ごす。
4/16、5/21、6/18、7/16、8/20、10/22、11/19、12/24、1/25、2/

25、3/25

・カラオケクラブ 歌のお好きな方たちの集まりであったが感染症の発生により中止を為ってしまった。

1/10

・大野台幸園便りの発行 施設での生活状況を発信した。

5. 職員研修

職員研修会

	施設内研修	外部研修
4月	平成29年度施設経営方針について 辞令交付	
5月	感染症予防研修会（食中毒、感染症 手洗い	
6月	事故防止研修（平成28年度報告）	認知症介護指導者養成研修（6月～8月）
7月	身体拘束・虐待防止研修	ユニットリーダー研修
8月	口腔ケア	
9月	ユニットケアについて	認知症ケアの基礎 喀痰吸引等研修（9月～2月）
10月	感染症予防研修（食中毒、感染症） 感染便、吐物処理	安楽な移動技術（キネステイクⅠ）
11月	AED 心肺蘇生	認知症ケアの応用 認定調査現認研修 安楽な移動技術（キネステイクⅡ）
12月	事故防止研修 上半期事故報告	
1月	（感染症発生のため中止）	認定調査現員研修（スキルアップ）
2月	（感染症発生のため中止）	平成29年度要介護施設等従事者に向けた高齢 者虐待防止等講演会
3月	急変時の対応・褥瘡	

6 職員会議

会議名	実施日
運営会議 入退居検討委員会 苦情対応委員会 安全衛生委員会 褥瘡対策委員会	4/14、5/16、6/20、7/18、8/22、9/19、10/17、 11/21、12/19、1/16、3/20、
リーダー会議	4/25、5/23、6/27、7/25、8/22、9/19、10/27、 11/21、12/26、1/23、2/20

ユニット会議	ユニット毎 月1回開催
サービス担当者会議	各月2～3回開催
感染症対策委員会	4/13、5/11、7/13、9/14、10/12、1/11、2/5、2/9、2/13、
事故防止対策委員会	5/17、6/21、11/15、12/13、3/7
身体拘束・虐待防止委員会	4/10、5/22、7/10、10/11、1/9、
防災対策委員会	5/18、6/6、10/19、11/16、3/22
職員研修係	4/28、5/31、6/30、7/31、8/31、9/29、10/31、11/30、12/18、3/30、
教育係	4/21、5/19、6/30、8/23、9/15、11/14、12/15、1/19、3/16、
祭り実行委員会	5/8、6/1、7/6、8/3、9/7、10/5、
親睦会役員会	5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/11、3/14、

7. 防災訓練

訓練実施日	内容
6月27日	夜間帯 4階A棟ぼたんユニットから出火を想定
12月19日	夜間帯 1階ばらユニットから出火を想定
3月27日	夜間帯 2階ももユニットから出火を想定

ユニット毎に月1回避難訓練実施

8. 健康管理

感染症発症者 (1/28～2/9)

(人)

	入居者	職員	合計
インフルエンザ	6	6	12
ノロウイルス	15	6	21

相模原中央病院往診・・・週2回(月、金)

相模皮膚科往診・・・週1回(水)

義澤歯科往診・・・週2回(水、土)

入居者健康診断・・・相模原中央病院

入居者インフルエンザ予防接種・・・112名

肺炎球菌予防接種・・・5名

職員健康診断・・・7月、2月(夜勤者)

腸内細菌検査(検便)・・・入職時、3月(全員)

職員インフルエンザ予防接種・・・90名

9. 機能訓練

身体機能、日常動作の維持、生活リハビリを中心に実施

現在94名の個別機能訓練計画書作成。うち15名、基本動作・歩行状態の観察を実施。

79名 週1回・月2回・月1回に分けて間接稼働域訓練・基本動作・移乗動作訓練を実施している。

身体機能の大きな向上は見られないが、身体機能の維持・効率的な動作の練習により、起立・歩行・移乗が可能となり、介助量が軽減した。

10 衛生管理

労働災害・・・なし

11 苦情・相談

サービス事業所	安全面	制度、法律関係	対応関係	その他
0	0	0	4	0

12 事故等

・事故報告（薬に関することと、受診及び行政報告分）

転倒によるけが	落下薬	薬の服用忘れ	誤薬	誤嚥	その他	合計
14	27	26	14	2	15	98

・事例報告（受診に至らないけが又はけがなし）

転倒	転落	ずり落ち	尻もち	その他	徘徊 外	徘徊 内	合計
60	27	80	29	247	3	1	447

内身体への有症状

打撲	擦過傷	表皮剥離	皮下出血	腫脹
15	35	60	165	8

・破損・紛失

食器	施設物品	本人物品	衣類	紛失	PHS	合計
32	18	4	8	3	2	67

事故対応

昨年度より報告数増加 内、転倒による骨折、その後の出血性ショック、入れ歯の飲み込み、ゴム手袋の飲み込み、誤薬と大きな事故が発生した。

マニュアルの見直し、気づきの為の視点、事故防止のための研修と啓発を行って入る。

全体の7割近くが薬関連であり、落下薬、服用忘れが多かった。

事例報告 減少したが、ずり落ちや転倒が多かった

破損紛失 減少した。

13 地域との連携

地域自治会と連携して福祉避難訓練、要支援者受け入れ訓練、預かり防災用具稼働訓練等実施した。

この活動についてはさらに進めていく必要がある。

各事業所報告

平成29年度 事業報告書

ショートステイ 大野台幸園

1. 総括

平成28年度実績と比べると利用総数は増加した。稼働率70.2%で1日の平均利用数は14人と僅かに増加した。

平均年齢、平均介護度、要支援の方の利用については大きな変化なかった。

緊急受け入れ

虐待の保護 2名 家族への関わり方が難しかった。

ユニット行事 お料理等いろいろな企画を組み実施した、皆様には楽しんでいただけた。

2. 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	37	42	33	39	43	39	43	44	48	40	41	37	実人数 486
延べ利用人数	431	413	337	397	454	422	454	424	491	452	408	446	年間平均 5129
稼働率	71.8	66.6	56.1	64.0	73.2	70.8	73.2	70.6	70.1	78.7	72.8	71.9	年間平均 70.2
一日平均	14.3	13.3	11.2	12.8	14.6	14.2	12.5	14.1	14.4	15.7	14.5	14.3	14.0

平均年齢	平均介護度	予防・介護の割合
介護 85.5歳	2, 95	
予防 82.6歳		3%

3. 職種別職員数 (平成30年3月31日現在)

職種	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	看護師	ケアワーカー	機能訓練指導員	管理栄養士	その他	
常勤	1	0	1	0.5	(1)	7		(3)	(6)	
非常勤	0	(1)	0	0		1			(5)	
合計	1	(1)	1	0.5	(1)	8		(3)	(11)	

4. 年間行事実施内容

	全体行事	ユニットの行事
4月		キーマカレー作り 朝顔の種まき
5月		グリーンピースご飯作り
6月		焼きそばパーティー
7月		ちらし寿司
8月		夏野菜カレー
9月	大野台幸園祭り	サンドイッチ作り
10月		さつまいもご飯といも煮作り
11月		昼食作り (チキンライス、野菜スープ、フルーツ盛り合わせ)
12月		夕食 おでん作り
1月		
2月		
3月		ちらし寿司

- ・ハーモニカと歌う演奏会
- ・ドックセラピー、凧ちゃんと遊ぼう

5. 職員研修

職員研修会

	施設内研修	外部研修
4月	平成29年度施設経営方針について 辞令交付	
5月	感染症予防研修会 (食中毒、感染症 手洗い)	
6月	事故防止研修 (平成28年度報告)	
7月	身体拘束・虐待防止研修	
8月	口腔ケア	
9月	ユニットケアについて	
10月	感染症予防研修 (食中毒、感染症) 感染便、吐物処理	
11月	AED 心肺蘇生	
12月	事故防止研修 上半期事故報告	
1月	(感染症発生のため中止)	
2月	(感染症発生のため中止)	
3月	急変時の対応・褥瘡	

6 職員会議

会議名	実施日
運営会議 入退居検討委員会 苦情対応委員会 安全衛生委員会 褥瘡対策委員会	4/14、5/16、6/20、7/18、8/22、9/19、10/17、 11/21、12/19、1/16、3/20、
リーダー会議	4/25、5/23、6/27、7/25、8/22、9/19、10/27、 11/21、12/26、1/23、2/20
ユニット会議	ユニット毎 月1回開催
サービス担当者会議	
感染症対策委員会	4/13、5/11、7/13、9/14、10/12、1/11、2/5、2/9、 2/13、
事故防止対策委員会	5/17、6/21、11/15、12/13、3/7
身体拘束・虐待防止委員会	4/10、5/22、7/10、10/11、1/9、
防災対策委員会	5/18、6/6、10/19、11/16、3/22
職員研修係	4/28、5/31、6/30、7/31、8/31、9/29、10/31、 11/30、12/18、3/30、
教育係	4/21、5/19、6/30、8/23、9/15、11/14、12/15、 1/19、3/16、
祭り実行委員会	5/8、6/1、7/6、8/3、9/7、10/5、
親睦会役員会	5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/11、3/14、

7 防災訓練

訓練実施日	内容
6月27日	夜間帯 4階A棟ぼたんユニットから出火を想定
12月19日	夜間帯 1階 ばらユニットから出火を想定
3月27日	夜間帯 2階 ももユニットから出火を想定

ユニット毎に月1回避難訓練実施

8 健康管理

感染症発症者（1/28～2/9）

（人）

	入居者	職員	合計
インフルエンザ	3	1	4
ノロウイルス	0	0	0

職員健康診断・・・7月、2月（夜勤者）

腸内細菌検査（検便）・・・入職時、3月（全員）

職員インフルエンザ予防接種

衛生管理

労働災害・・・なし

9 苦情・相談

サービス事業所	安全面	制度、法律関係	対応関係	その他
0	0	0	1	0

10 事故等

・事故報告（薬に関することと、受診及び行政報告分）

転倒によるけが	落下薬	薬の服用忘れ	誤薬	その他	合計
2	4	3	1	6	16

事故の半数が薬関連であった

・事例報告（受診に至らないけが又はけがなし）

打撲	擦過傷	表皮剥離	異食	皮下出血	腫脹	離設
0	6	4		9	0	1
転倒	転落	ずり落ち	しりもち	所在不明	その他	合計
6	2	13	10	1	0	52

・破損・紛失

食器	施設物品	本人物品	衣類	PHS	合計
0	3	1	0	0	4

事業報告書

平成29年度事業報告書
グループホーム幸園

1、 総括

入所者の半数以上が90歳以上の方となり、そのため身体活動が低下し外出レクも厳しくなってきました。 寄り添う介護と共に身体介護が増大している現状です。
2月には2階ユニットにおいて入所者3名、職員3名がインフルエンザを発症しました。

2、 年間入所者数（人） 定員27名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1階	9	9	9	9	8	9	9	9	9	9	9	9	
2階	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
3階	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
合計	27	27	27	27	26	27	27	27	27	27	27	27	
退所					1								
新入所						1							
入院日数		12	16	12	41 (2)	6	4		2	4	2	15 (3人)	
稼働率	100	98,	98,	98,	92,	99,	99,	100	99,	99,	99,	98,	2

3、 入所者介護度別 (平成30年3月末)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1階	1	2	4	1	1	9
2階	0	2	2	3	2	9
3階	0	1	2	3	3	9
合計	1	5	8	7	6	27

平均介護度 1階 2, 8 2階 3, 5 3階 3, 8

4、 入所者年齢別 (平成30年3月末)

	75歳～80	81歳～85	86歳～90	91歳～95	96歳～100	合計
1階	0	1	6	1	1	9
2階	0	0	3	4	2	9
3階	1	1	2	2	3	9
合計	1	2	11	7	6	27

平均年齢

1階 89.5歳 2階 92.2歳 3階 90.8歳

5、資格別職員数

	介護支援専門員 介護福祉士	介護福祉士	初任者研修 (ヘルパー2級)	
常勤職員	5	12	4	
非常勤職員		2	1	
合計	5	14	5	

6、年間行事実施内容

1階 すみれ

4月 お花見 誕生会 避難訓練

5月 避難訓練 母の日 端午の節句おやつ作り

6月 避難訓練

7月 七夕 避難訓練 アコーディオン演奏ボラ

8月 誕生会 納涼祭 避難訓練

9月 避難訓練 誕生会 敬老会 保育園運動会参加

10月 保育園児と食事会 風船バレー大会 ガストへ外食 避難訓練

11月 すみれ喫茶 避難訓練

12月 クリスマス会 避難訓練

1月 七草粥 初詣 (デイフロアへ) 誕生会 ベランダカフェ

2月 誕生会 節分豆まき 避難訓練

3月 花見 避難訓練

2階 なでしこ

4月 花見と外食 誕生会 ぬくもりボラ 避難訓練

5月 誕生日会 ぬくもりボラ

6月 誕生会 ギターとうたう会 ぬくもりボラ 避難訓練

7月 七夕 ぬくもりボラうちわ作り 誕生会 納涼縁日遊び 園児と交流 避難訓練

8月 誕生会 納涼祭 自治会夏祭り参加 避難訓練

9月 保育園運動会参加 避難訓練 誕生会 敬老会 ぬくもりボラ

10月 園児と食事会 クレープ作り ぬくもりボラ 誕生日会 避難訓練

11月 ゲーム大会 自治会文化祭参加 ぬくもりボラ ギター演奏 避難訓練

12月 クリスマス会 ぬくもりボラ羽子板作り 避難訓練 誕生会 忘年会

1月 ぬくもりボラ 誕生会 避難訓練

2月 節分豆まき ぬくもりボラ雛人形作り ゲーム大会 避難訓練

3月 ぬくもりボラおやつ作り 避難訓練 誕生日会

3階 たんぽぽ

- 4月 花見 絵手紙ボラ 歌ボラ ぬくもりボラ 誕生会
 - 5月 餃子作り 歌ボラ ぬくもりボラ 避難訓練
 - 6月 絵手紙ボラ 歌ボラ ぬくもりボラ カラオケ大会 避難訓練
 - 7月 絵手紙ボラ 歌ボラ スイカ割 誕生会 ぬくもりボラ 避難訓練
 - 8月 絵手紙ボラ 歌ボラ 誕生会 園児と交流 避難訓練
 - 9月 絵手紙ボラ 傾聴ボラ ぬくもりボラ 避難訓練
 - 10月 園児と食事会 誕生日会 ぬくもりボラ 歌ボラ 絵手紙ボラ 避難訓練
 - 11月 絵手紙ボラ ぬくもりボラ 誕生会 自治会文化祭参加 ミニ運動会 避難訓練
 - 12月 歌ボラ 絵手紙ボラ クリスマス会 ぬくもりボラ 忘年会 避難訓練
 - 1月 地域交流会参加 初詣 ぬくもりボラ 絵手紙ボラ 避難訓練
 - 2月 節分 地域交流会参加 歌ボラ ぬくもりボラ 避難訓練
 - 3月 大正琴ボラ ぬくもりボラ桜もち作り 絵手紙ボラ 誕生会 避難訓練
- 3階 たんぽぽでは月1回、地域サロンに2名参加しています

ユニット合同での行事

- 5月 家族会 9月 敬老会 年2回 合同避難訓練
 - 8月 納涼祭 12月 クリスマス会
- その他デイサービスの行事に参加

7、職員研修 (外部主催)

- 認知症介護実践者研修 1名
- 食中毒、ノロウイルス対策 3名
- 高齢者虐待防止について 2名
- 在宅でのリハビリについて 2名
- 認知症ケアの基礎 4名
- 高齢者施設の救急対応 2名
- 職場におけるストレス対策 1名
- 住み慣れた地域で最後まで 4名
- 結核と感染症の基礎 1名
- 高齢者の便秘について 7名
- 施設の防火実務研修 2名
- GH部会年4回 延べ12名

園内研修

- 4月 拘束、虐待について
- 5月 緊急時対応
- 6月 食中毒
- 7月 認知症の基礎知識
- 8月 防災について
- 9月 事故対応
- 10月 拘束、虐待について
- 11月 インフルエンザ対策
- 12月 ノロウイルス対策 処理の仕方
- 1月 ノロウイルス対策 処理の仕方
- 2月 記録の仕方について

8、 事故報告

転倒、転落 座り込み	1階	18件	2階	20件	3階	26
与薬の忘れ	1階	4件	2階	2件	3階	1
薬セット忘れ	1階	2件				
打撲 擦り傷	1階	2件	2階	5件	3階	3件
利用者同士の	3階	3件				
ヒヤリハット	1階	42件				
	2階	16件				
	3階	30件				

9、 職員健康診断 2回 インフルエンザ予防注射実施

10、 職員会議 各ユニットごとに月1回実施

11、 避難訓練 消防署立ち合い訓練1回、 通報なし3ユニット合同1回、
各ユニット自主訓練おおむね月1回

12、 研修生受け入れ

津久井高校生	2名	認知症介護実践者研修	2名
社会福祉士研修	1名	介護実務者研修	てらすカレッジ 5名

13、 自己評価と外部評価

平成29年11月25日実施

14、 運営推進委員会を年間6回実施

自治会、民生委員、市職員、各ユニットから2名の家族
各ユニット職員 管理者が参加

15、 施設外周の手入れをボランティアに依頼し整備されている 以上

平成29年度 事業報告書

居宅介護支援センター 幸園

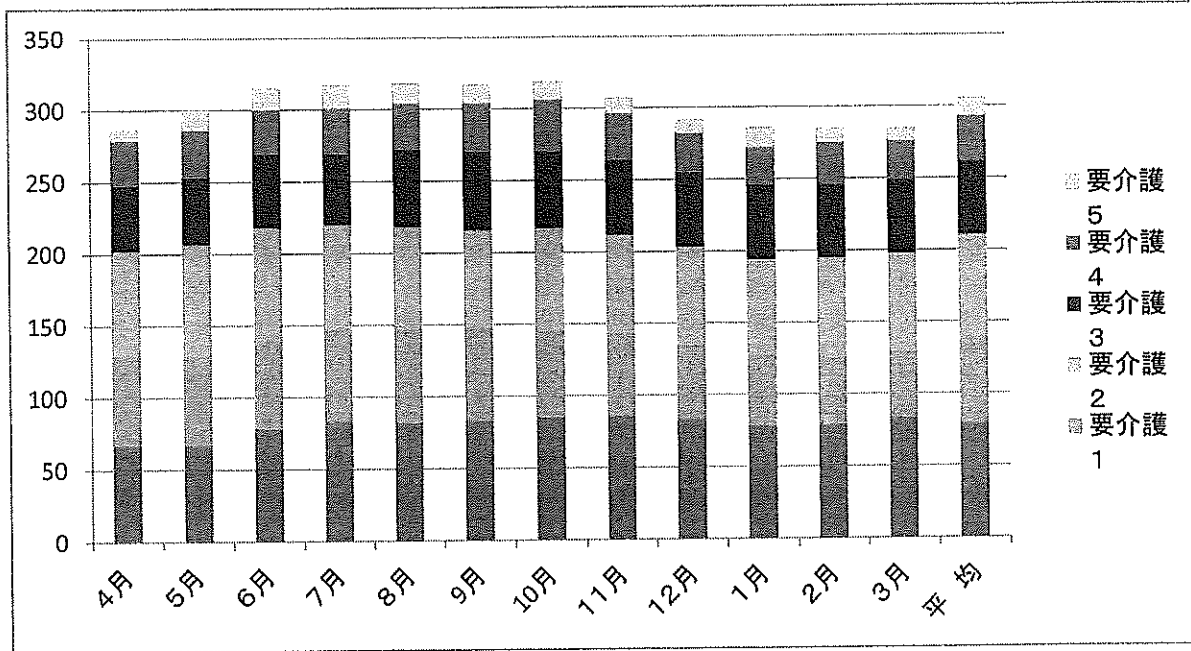
1. 総括

今年の居宅の動きとしては、「地域包括ケア」を推進する為に①長期入院を減らす②必要以上に病院に行かなくてすむ様に、かかりつけ医を持つ③治療が終了した人は在宅に戻り、在宅で看取る。というケースが増えた事です。以前のように「退院後は在宅ではなく老人保健施設や療養型病院への転院」という方が少なくなりました。しかし、現状では退院後すぐに自宅に戻れる人の方が今はまだ少ないと思います。1人暮らしの方でもサービスをたくさん利用すれば自宅で生活する事は可能になりますが、サービスを増やせばそれだけ費用も増え、ご本人の負担も増えます。費用だけ考えれば、転倒などのリスクが高い自宅に戻るより、看護の手厚い医療機関や施設の方が費用が安くなる場合もあります。ケアマネージャーとして、利用者様の気持ちを尊重しつつ、ご家族、医療機関との橋渡しとして頼りにして頂けるように頑張りました。

2. 年間担当件数

月度/介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	22	45	62	73	46	31	8	287
5月	23	44	63	77	46	33	14	300
6月	26	52	62	78	51	31	15	315
7月	27	56	64	73	49	32	16	317
8月	25	57	65	71	54	32	14	318
9月	25	58	65	68	54	34	13	317
10月	27	58	60	72	53	36	13	319
11月	30	56	57	69	52	32	11	307
12月	29	54	51	69	52	27	10	292
1月	27	51	50	66	52	26	14	286
2月	26	53	47	69	51	29	10	285
3月	28	55	46	69	51	27	9	285
平均	26.1	53.1	59.9	71.6	50.9	31.4	12.8	305.8

1人当たりの担当人数は支援を含め 34人 (全国平均は27人)



3. 職員数

4月に9名でスタート。11月に長久保さんが大野台幸園の居宅に移動。12月末で笹村さんが退職。3月から石井さんが入職、現在は8名で活動しています。

4. 職員研修

今年は介護保険と医療保険のダブル改定がありました。その為、診療報酬に関する医療機関の勉強会や包括主催の在宅支援強化を目指す研修などが、たくさん開催されました。今後は在宅復帰を目指して、病院との連携がさらに重要になります。その連携の要となってスムーズな退院調整が出来る様に、医療や介護に関する新しい制度や病気に対する知識などについてもっと勉強したいと思います。

各事業所報告

H29年度 居宅介護支援センター大野台幸園 事業報告

1. 総括

今年度は5月と11月にCM2名が移動により配属された。12月から「特定事業所加算Ⅲ」を算定することになりました。事業所加算を算定することで定められている基準に沿って業務を行う事が、初めてな事ばかりだったので戸惑ったが、仲間のサポートもあり、開始することができた。8月には初めての実施指導があり、2月は情報公開と書類に追われる1年であった。今年度は昨年度と違い、病院から直接紹介を受けることや来所されることもあり、少しずつ地域に溶け込んでいっているように感じています。

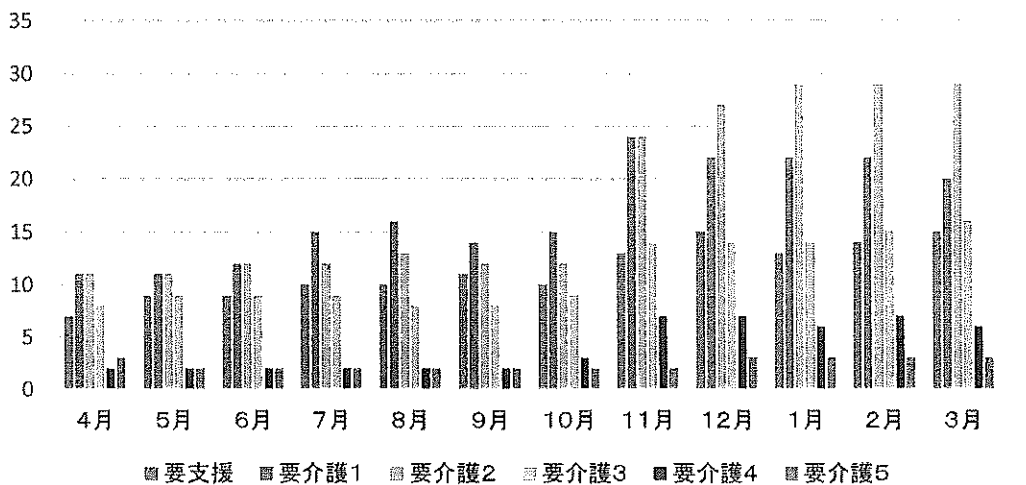
今後も高齢者支援センターと連携し、利用者だけでなく地域の事も考えられる、居宅介護支援センターを目指していきます。

2. 年間担当件数

月度/介護度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	7	11	11	8	2	3	36.5
5月	9	11	11	9	2	2	37.5
6月	9	12	12	9	2	2	43
7月	10	15	12	9	2	2	43
8月	10	16	13	8	2	2	44
9月	11	14	12	8	2	2	41.5
10月	10	15	12	9	3	2	44
11月	13	24	24	14	7	2	75
12月	15	22	27	14	7	3	76.5
1月	13	22	29	14	6	3	77
2月	14	22	29	15	7	3	79.5
3月	15	20	29	16	6	3	78.5

* 要支援 予防プランのみ1人当たり 0.5換算

介護度別 利用状況



3. 職員数

成田CMが5月に育休明けで、特養から居宅へ移動。11月に本部から長久保CMが移動になり、3名体制になる。

4. 職員研修

日付	内容	担当
6月19日	生活保護制度と実践事例	松下
6月29日	集団指導	松下・成田
7月5日	障害者総合支援法と実践事例	松下
7月19日	骨のトラブル 予防と治療	成田
8月2日	認知症研修	成田
9月5日	面接力をつける(相談援助)	成田
9月1日	実習受け入れ事業所説明会	松下
9月6日	居宅部会	松下
9月14日	認知症カフェ実施者交流会	松下
10月3日	成年後見人制度	成田
10月20日	うつから始まる精神疾患	成田
10月26日	医療・介護連携研究会	松下
11月17日	ケアマネジメント研修	成田
11月22日	認定調査現任研修	成田
1月31日	地域密着型サービスの効果的な利用について	成田
2月9日	利用者に寄り添う意思決定支援を考える	成田
2月19日	H30年度改正に向けて	松下
3月1日	ケアマネ交流会	成田

5. 苦情、事故報告

H29年10月25日(水)14時、利用者宅訪問時、車を止める際に塀と接触させる事故を起こす。利用者宅へお詫びをする。塀の修理はしなくて良いとの事で、車のみ修理する。

H29年12月19日(火)看取り対応利用者の奥様より、サービス計画書・理美容手配の依頼を受けていたが対応に時間がかかってしまった。理美容利用前に亡くなられた。時間がかかってしまったことをお詫びをした。

各事業所報告

平成29年度 事業報告書

デイサービスセンター幸園

1、 総括

・利用人数は前年度から大きく減少した（前年度8,406名⇒8,057名）。目標である年間9,000名の達成には程遠い結果となってしまった。定期的に発生する廃止に対して新規の獲得が十分でなかったこと、不調による長期休みの方が多かったことが原因と考えられる。このままでは平成30年度は年間8,000名も割ってしまうことが確実なため、積極的な営業を開始して新規獲得をしていく必要がある。

・29年度は避難訓練を特に重点的に行った。従来の訓練を定期的を実施したのは当然として、「入浴中に火災が起きた場合」「カラオケ中に地震が起きた場合」など、ご利用者様と共に訓練を行うことが難しいケースについても可能性を想定して、会議にて十分に話し合うことができた。

・29年度は事故の発生を少なくさせることができた。ヒヤリハットとして報告の上になっている物も危険周知であるものが多い。職員各自がお互いに連携をとり、安全・安心・安定したサービスを提供が出来ていたと言える。

2、 利用者数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
介護	612	605	637	641	631	597	601	600	543	538	515	599	7,119
予防	74	81	80	77	74	91	83	86	76	79	66	71	938
合計	686	686	717	718	705	688	684	686	619	617	581	670	8057
入所者数	1	2	5	3	4	3	3	2	1	2	3	1	30
退所者数	6	4	2	6	2	2	3	5	4	2	2	0	38

3、 職種別職員数 (H29年3月31日現在)

職種 形態	生活相談員	看護職員	介護職員	運転手	合計
常勤職員	1	1	6		8
非常勤職員		3	2	2	7
合計	1	4	8	2	15

(※H29年3月31日を以って看護職員1名退職)

4、 年間行事実施内容

別紙のとおり

5、 事故・苦情報告について

1) 事故報告

受診を伴った事故 1件

その他の事故 2件 内容 送迎車輛の事故

2) ヒヤリハット 14件

主な内容

- ・受診にまでは至らなかった転倒
- ・転倒に至る恐れのある対応など
- ・誤飲、誤食
- ・その他
- ・未然に防がれたもの (危険周知)

3) 苦情報告 2件

主な内容

- ・接遇ミス
- ・送迎時のご利用者様への連絡のミス

6、 その他

- ・職員会議 月1回開催
- ・勉強会 認知症対応、認知症ケア
感染症予防と蔓延防止
介護事故防止、対応マニュアル
接遇、身体拘束等行動制限について
倫理と法令の遵守
非常災害時の対応
H30年度の介護報酬改定について

・平成29年度 月別平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延べ人数	686	686	717	718	705	688	684	686	619	617	581	670	671.4
延べ人数(介護)	612	605	637	641	631	597	601	600	543	538	515	599	593.3
延べ人数(予防)	74	81	80	77	74	91	83	86	76	79	66	71	78.2
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	25.7
一日平均利用者数	27.4	25.4	27.6	27.6	26.1	26.5	26.3	26.4	25.8	25.7	24.2	24.8	26.2
一日平均利用者数(介護)	24.5	22.4	24.5	24.7	23.4	23.0	23.1	23.1	22.6	22.4	21.5	22.2	23.1
一日平均利用者数(予防)	3.0	3.0	3.1	3.0	2.7	3.5	3.2	3.3	3.2	3.3	2.8	2.6	3.0
稼働率	68.6	63.5	68.9	69.0	65.3	66.2	65.8	66.0	64.5	64.3	60.5	62.0	65.4
											年間利用者数	8,057	

・要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生きがいデイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2
要支援2	7	7	8	7	7	9	9	9	9	9	9	8
要支援小計	9	9	10	9	9	11	11	11	11	12	11	10
要介護1	24	24	21	21	20	22	23	22	21	19	18	17
要介護2	22	22	21	21	21	20	18	18	18	20	20	20
要介護3	23	22	24	24	23	23	20	21	22	22	21	23
要介護4	10	9	11	12	10	9	14	13	11	10	12	10
要介護5	5	6	6	7	7	6	7	7	5	3	3	3
要介護小計	84	83	83	85	81	80	82	81	77	74	74	73
全利用者合計	93	92	93	94	90	91	93	92	88	86	85	83

平成 29 年度 デイサービスセンター第二幸園事業報告書

1、総評

- ・幸園の理念を元に、デイサービスセンター第二幸園の業務にあたった。
- ・11月1日より管理者が交代となり新体制でのサービス提供となった。根本の業務内容は従来の体制を継続し、利用者や家族へ大きな混乱を招くことなく業務継続できた。

[年間目標]

①第二幸園での時間を「楽しい」「安心」と思っていただけのようにご本人の立場に立って物事を考えます。

②利用者の個々に合ったケアを追求します。

何事もご本人の立場に立って物事を考えるよう、ミーティングで考えを出し合った。利用者の個々に合ったケアについては、利用者の気持ちや考え、思いなどの聞き取りから多職種で相談をしながら行った。認知症の方が多く在籍している為、今後も引き続き勉強会を行い、ご本人が落ち着く接し方を身に付け対応する必要がある。

2、年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業 対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	4	5	3	7	5	3	5	2	3	1	3	2	43
要支援2	8	7	6	5	5	5	4	5	4	4	4	4	61
	50	61	47	38	41	42	34	35	30	28	30	31	467
要介護1	16	17	14	13	13	13	11	12	12	10	10	9	150
	95	124	100	94	98	97	93	96	81	82	82	67	1109
要介護2	24	20	19	19	18	16	18	17	18	20	20	20	229
	192	181	168	163	183	152	170	154	150	142	125	164	1944
要介護3	10	10	13	14	16	15	16	17	19	19	18	20	174
	76	100	107	104	139	123	135	137	152	151	162	176	1562
要介護4	7	6	6	6	6	6	5	5	6	6	8	7	68
	53	52	46	48	60	51	32	41	40	38	55	52	568
要介護5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	147
	10	22	34	35	34	36	36	36	33	34	33	32	375
合計	70	58	64	64	64	61	60	63	65	65	65	66	842
	480	545	505	489	560	504	505	505	489	476	490	524	6068
稼働	20	22	23	21	23	23	22	22	20	20	20	22	258

日数													
1日平均	24.0	24.8	22.0	23.3	24.3	21.9	23.0	23.0	24.5	23.8	24.5	23.8	23.6
稼働率	60.0	62.0	55.0	58.3	60.8	54.8	57.5	57.5	61.3	59.5	61.3	59.5	59.0

3、職種別職員数（平成30年4月11日現在）

	管理者	生活 相談員	看護師	介護職員	運転手	その他	合計
常勤職員	(1)	(3)	1	4 (2)	0	0	8
フル パート	0	0	0	0	1	1	2
非常勤職 員	0	0	2	1	1	0	4
派遣	0	0	0	1	0	0	1
合計	(1)	(3)	3	6 (2)	2	1	15

※ フルパートは週5日、非常勤職員は週2～4日、その他は障害者雇用者。（ ）は兼務。

4、年間行事実施内容

	合同レク	選択レク
4月	・お花見外出レク ・キックカーリング	ポケネット・ストローマスコット・風船バレー・ぬり絵 カレンダー・壁掛けづくり・玉入れ・脳トレ・輪投げ・ 折り紙・絵手紙
5月	・端午の節句 金太郎杯 ・テーブルゲーム ・キックボウリング	お手玉飛ばし・小筆で書道・紫陽花ブローチづくり・お 手玉でポケネット・絵手紙・竹の子とりゲーム・小鳥の 根付作り・折り紙・書道・コースターの当て
6月	・竹の子とりゲーム ・テーブルゲーム ・オープンカフェ	PK ゲーム・ねん土・コースターの当て・ぬり絵カレンダ ー・スリッパ移しゲーム・絵手紙・七夕壁掛け作り・モ ップカーリング・折り紙
7月	・七夕ゲーム ・カーリング	小筆で書道・PK ゲーム・絵手紙・野球ゲーム・ぬり絵カ レンダー・壁掛けづくり・折り紙
8月	・キック風船 ・テーブルゲーム ・夏祭り	お手玉飛ばし・壁掛けづくり・コースターの当て・ぬり 絵カレンダー・2人でポケネット・マグネット帽子・キ ックビンゴ・折り紙・絵手紙・風船当てゲーム・書道
9月	・ポケネット ・キックボウリング ・敬老祝賀会	輪投げ・折り紙・フロアホッケー・ぬり絵カレンダー・ 絵手紙・風船飛ばし・共同制作・PK ゲーム・壁掛けづく り・書道
10月	・秋の大運動会 ・ポケネット ・PK サッカー	カーリング・壁掛けづくり・絵手紙・キック風船・脳ト レ・お手玉飛ばし・書道・陣取り輪投げ・11月の飾り作 り

11月	・デッキブラシホッケー ・テーブルゲーム ・サイコロサッカー	風船飛ばし・つまみブローチ作り・大漁ゲーム・PKゲーム・ぬり絵カレンダー・キックビンゴ・絵手紙・壁掛け作り・風船とばし・折り紙・2人ポケネット・書道
12月	・入れるが勝ちゲーム ・クリスマス会	カーリング・壁掛け作り「来年の干支」・PKゲーム・絵手紙・ビンゴゲーム・のど自慢・年忘れお楽しみ会
1月	・新年会 ・キックボウリング	風船バレー・壁掛けづくり・キック風船・ぬり絵カレンダー・絵手紙・玉入れゲーム・折り紙・書道
2月	・節分祭 ・一週間芸能大会 ・風船バドミントン	頭の体操・糸競馬・輪投げ・折り紙・絵手紙・ふくろうチャーム作り・風船バドミントン・書道
3月	・ひなまつり ・デッキブラシカーリング	輪投げ・ふくろうチャーム作り・PKゲーム・折り紙・絵手紙・粘土細工

○ボランティア活動

- ・折り紙・書道・絵手紙・クリスタルマンドリナーズ・ハーモニカ演奏をボランティアの方々にお願いした。また行事などにも参加していただき、コーラスボランティアやプロ歌手による歌謡ショーなどいつもと違う雰囲気味わっていただくことができ、利用者からも喜んでいただけた。定期のボランティアを楽しみにしている利用者もいたなので大切にしていきたい。
- ・ドライバーのボランティアが4人来ていただいております、今後も地域の交流も大切にしていきたい。
- ・修繕のボランティアに外周の草むしりや修繕をお願いしている。
- ・毎週火曜日に麻雀好きな利用者があり、麻雀ボランティアに来ていただいている。

5、その他

- ・職員研修…「認知症の事例検討」・「食中毒の予防および発生時の対応について」・利用者の抱える病気について」・「感染症の予防および発生時の対応について」・「高齢者虐待に関する内容について」・「身体拘束その他利用者の行動を制限する行為について」
- ・職員会議…毎月1回開催。
- ・災害訓練…毎月1回開催。
- ・苦情・相談…1件（連絡の行き違いによる不信感）
- ・事故報告…5件（情報紛失1件・介護技術不足による怪我1件・転倒3件）
- ・自動車事故報告…1件（送迎車が花壇に接触。単独事故。）
- ・破損届け…6件（備品の破損）
- ・建物等修理・修繕…3件（カラオケマイクの充電アダプター故障、送迎車の窓の取っ手破損、ボイラー故障）
- ・ヒヤリハット…7件（その日のうちにスタッフミーティングで原因を話し合い、対応の統一を行った。）

各事業所報告

平成 29 年度 事業報告

ヘルパーステーション幸園

1、総括

利用者様の可能な限りご自宅で自立した日常生活を送ることができるように訪問介護員が訪問させて頂きました。今年後はターミナルケアや通院乗降での利用者様を多く受けさせて頂きました。

介護保険改正がある中で他事業所では今年度中に要支援者の支援を見合わせる動きがありましたが幸園ではどのような方向で考えていけばよいのか検討して頂いた結果、今後も引き続き要支援の方にご利用していただきご自宅で活き活きとした生活を送って頂きたいという結果になりました。

2、事故・苦情相談受付

- ・ 事故報告 28 件（破損 5 件、確認ミス 7 件、忘れ物 6 件、他 10 件）

- ・ ひやりハット 5 件
- ・ 苦情相談 2 件

3、健康管理

- ・ 年 1 回健康診断、年に 1 回細菌検査（検便）を実施
- ・ インフルエンザ予防接種を実施

4、福祉有償運送

現在 3 名の運転手登録

5、研修

- ・ 月に 1 度のミーティング、研修会や事故報告、ひやりハット報告

1、利用状況及び人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数(人)	119	124	124	118	115	114	112	108	106	104	103	100
派遣回数(回)	1047	1169	1140	1078	1134	1127	1119	1077	1015	989	955	1093
派遣時間(時間)	705	779	945	1026	1035	1013	960	1000	958	943	966	941
常勤	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
非常勤	8	8	8	10	11	11	11	11	11	10	10	10
合計	15	15	15	17	18	18	18	18	18	17	17	17

・ サービス提供責任者名、6月より4チーム体制

2、要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数	割合
要支援	40	43	41	41	39	37	39	40	37	36	37	38	468	35%
要介護 1	15	18	18	17	15	15	13	12	12	14	14	14	177	13%
要介護 2	35	35	36	34	33	32	32	31	30	29	27	25	379	28%
要介護 3	15	14	16	15	16	15	15	14	15	14	14	14	177	13%
要介護 4	8	8	6	4	5	5	6	4	5	4	5	4	64	0.5%
要介護 5	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	6	5	79	0.6%
合計	119	124	124	118	115	111	112	108	106	104	103	100	1344	100%

3、サービス内容

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
身体介護	回数	313	309	300	305	355	384	368	327	329	354	372	417	4133	40%
	時間	219	218	209	218	246	262	255	234	244	255	269	314	3043	31%
身体生活	回数	186	219	205	185	170	197	214	230	223	180	161	211	2381	23%
	時間	249	293	274	249	218	243	269	279	263	208	185	249	2974	32%
生活援助	回数	342	392	400	360	366	318	314	286	264	253	219	245	3759	36%
	時間	312	353	355	322	325	279	277	254	321	223	192	217	3340	36%
通院等 乗降 介助	回数	1	9	15	14	19	15	13	20	14	19	20	27	186	1%
	時間	0.5	4.5	7.5	7	9.5	7.5	6.5	10	7	9.5	10	13	92.5	1%
合計	回数	842	929	920	864	910	1127	1117	1077	1015	989	955	1093	12941	100.0%
	時間	780	868	846	796	966	974	989	938	888	834	796	941	11330	100.0%

4、研修・講習会等

4月	利用者ケース検討 3グループに分かれての検討会
5月	記録の書き方とより良い記録の為の 観察ポイント
6月	食中毒予防講座 (相模原市保険所)
7月	ヘルパーの心構え 暴走ヘルパーにならない
8月	食えること、嚥下障害について
9月	コンソーシアム 地域での食・栄養に関する切れ目の ない支援をめざして
10月	緊急時の対応
11月	感染症の対策
12月	キューピーさんによる 柔らか介護食
1月	高齢者の皮膚トラブルにつ いて
2月	職業倫理、法令遵守
3月	今後の高齢化の進展 介護保険の改正

H29 年度 事業報告書

さいわい保育園

H29 年度保育園概要

4 月 園長・主任・副主任・保育士:21 名 栄養士:1 名 調理師:2 名 事務:2 名

3 月 園長・主任・副主任・保育士 19 名 栄養士:1 名 調理師:2 名 事務:2 名

園児は年間を通して 100 名前後を受け入れています。

園児数

月/年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計	稼働率
4 月	8 人	15 人	20 人	18 人	20 人	19 人	100 人	111%
5 月	8 人	14 人	20 人	18 人	20 人	19 人	99 人	110%
6 月	8 人	14 人	20 人	18 人	20 人	19 人	99 人	110%
7 月	8 人	14 人	20 人	18 人	19 人	19 人	98 人	108%
8 月	9 人	14 人	20 人	18 人	19 人	19 人	99 人	110%
9 月	9 人	14 人	20 人	18 人	19 人	19 人	99 人	110%
10 月	11 人	14 人	20 人	18 人	19 人	19 人	100 人	111%
11 月	11 人	14 人	20 人	18 人	19 人	19 人	100 人	111%
12 月	12 人	14 人	20 人	17 人	19 人	19 人	101 人	112%
1 月	12 人	14 人	20 人	17 人	19 人	19 人	101 人	112%
2 月	12 人	14 人	19 人	17 人	19 人	19 人	100 人	111%
3 月	12 人	14 人	19 人	17 人	19 人	19 人	100 人	111%

一時保育児年間合計 215 名人

事業内容

《毎月》 避難訓練 身体測定 乳幼児健診 リトミック 栄養相談

誕生日会 お弁当の日

歯科健診(年 2 回) 消防署との合同訓練(年 2 回) 防犯訓練(年 2 回)

懇談会(年 3 回) 個人面談(年 2 回) 巡回相談(年 2 回)

バスでの園外保育《随時》

育児講座:交通安全教室・南地区合同人形劇・10 園合同人形劇

9 園合同ハロウィン 4 園合同防災研修(防災マイスター)

親子で味噌づくり教室 親子カプラ教室 お琴とバイオリンコンサート

人形劇 2 回(ふしぎなききみみずきん) 山の音楽舎

劇団ブランコ(のらねこの冒険など)

会議

毎月 職員会議 防災・防犯会議 環境整備会議 給食会議 小動物会議

各種行事会議(運動会 納涼祭 クリスマス会 保育ウィーク他)

自主研修 クラス研修 ケース会議(随時)

睡眠プロジェクト(早寝・早起き・朝ごはん)

毎週 リーダー会議

*文集(ひなたぼっこ第7号)発行

一時保育事業 オープン保育(園庭解放・プール解放)地域交流・育児相談

子育て支援育児講座

図書の貸し出し(約 2890 冊:園児を含む)

一時預かり事業:特定保育・一時保育

行事 職員関係

4月 入園式・クラス懇談会 職員心得チェックリスト配布 療育相談

卒園児と過ごす会&親子カプラ教室

5月 個人面談 保育安全チェックリスト配布 “

6月 引き取り訓練・炊き出し訓練 歯科健診・プール開き・尿検査

7月 セタ・4・5歳児お泊まり保育 クラス懇談会 南大野小学校と交流

監査

8月 納涼祭 触れあい体験保育実習受け入れ(14名)

9月 南地区合同人形劇 交通安全教室 安全チェックリストの配布

10月 運動会 遠足 山登り ハロウィン 歯科健診

グループホームの方との食事会

11月 芋ほり やきいも大会 保育ウィーク 4園合同交流(年長児)

個人面談 職員心得配布 遊具の点検

劇団「バク」うさぎとカメ 琴とバイオリンのコンサート 山の音楽舎

12月 クリスマス会 南大野小学校との交流

1月 餅つき お店屋さんごっこ 安全チェックリスト配布

2月 豆まき・相撲大会 地域の方とのお茶会

3月 お別れ遠足・卒園式 懇談会 入園説明会 民話の語り部

毎月 避難訓練・誕生日会・リトミック・オープン保育・栄養相談 身体測定

・地域交流毎月2回 幸園代2デー訪問毎月2回 お弁当の日(毎月)

職員研修

- ・今年度は絵本の研修を子どもの方にもお願いし、職員が2回、保護者の方には懇談会で各学年に話していただきました。
- ・支援コーディネーター研修に参加。
- ・クラスごとに自主研修を毎月1回実施し、さいわい保育園の保育の共有化を図りました。
- ・保育連絡協議会、保育士会などの研修を複数の保育士が受けるようにしました。
- ・副主任研修、分野別研修を対象の職員が受講しました。

防災関連

不審者訓練を実施し職員の意識の向上をはかりました。
避難訓練を毎月実施しました。消防署との合同訓練を2回実施しました。
防災メールを活用し、全園児にメールの活用をお願いしました。
引き取り訓練日を6月に実施し、炊き出し訓練、非常食の保護者の方の試食を実施しました。

一時保育事業

毎月2回、製作、クッキング、リトミックなど親子で楽しめる地域交流を実施しました。
オープン保育・プール開放を実施しました
また地域の方向けに試食会を実施し、離乳食・アレルギー食・幼児食などの試食を実施しています。
広場事業について、参加者を多くするように担当が努力していますが火曜日は他のイベントと重なるとの話があり来年度は曜日を変えることを検討します。

園外保育

園バスを使用して厚木市、大和市、町田市など公園に出かけています。今年度も月に1度お弁当の日を作りバスで出かけた公園でお弁当を食べるようにしました。
銀河の森プレイパークで焼き芋大会も昨年に続き実施しました。

保育参観

昨年に引き続き、保育参観を取り入れています。90%以上の方が保育参観をされ、園児の様子、保育の感想などを頂いています。保育参観を半日から1日にし、長時間保育参観をされる方が多くなりました。
毎年保育参観をしているので子ども達の成長を見ていただき子ども同士のトラブルなども理解していただいています。何回もする方が多く、父親の保育参観が多く両親の参加も多くなっています。

食育活動

- ・栄養相談を毎月実施し、保護者の方の栄養相談、アンケートの実施、試食などを実施しました。
- ・昨年の世界の料理から今年度は郷土料理に取り組むようになりました。
- ・畑でジャガイモ、サツマイモ、大根、園庭でミニトマト、ナス、キュウリ、カリフラワーなどを育て収穫したものをクッキングで楽しみました。

・大根の収穫が多く切り干し大根や沢庵を子ども達が作っています。

健康

1月から2月に4週間かけてインフルエンザ A/B 型が 30 名以上発症していますが 1 日に 10 名以上の発症は見られませんでした。

2月にシラミの発症が2名ありました。

怪我については転倒し、手を突かないで歯をぶつけ受診することが多くありました。

受診後に歯が変色することもあるためスポーツ保険にかけています。

1月に雪が降った後の青空広場で他園の園児に雪を投げ、他園の園児の目を傷つけた為受診しています。

その他

待機児童が多く定員を超える入所を受け入れ、また家庭に支援が必要な場合は緊急の受け入れも行いました。児童相談所、南子育て家庭相談課、保健所とのケース会議もしています。年長児に支援を必要とする子が19名中5名いた為、学校や療育との連携をとるようにしました。

近隣の公園が他園と一緒に使用することが多いため、バスを毎日利用するようにしました。保護者の方にも喜んでいただいています。近隣の公園で「騒音」「固定遊具が使えない」「草むらで排尿する姿を見た」などの苦情がありました。

引き続き相模大野未来保育園と連携園になっています。

ご意見・苦情等の件数

子ども同士のトラブル……1件

保育園の設備について……3件

備考

・年長児は午睡時間を4月よりなくし、その時間でピアノカ、縄跳びなどの横割り活動を充実させました。

職員について

職員4名が産休・育休に入りましたが11月に育休空けの職員が退職しました。

3名は4月の中旬から復帰予定です。

3月末で1名産休に入ります。

9月より常勤パートの職員が週3日のパートになりました。

9月末で正職の職員が1名退職しました。

8月に正職の職員が1名入職し3月で退職しました。

平成29年度大野南地域包括支援センター事業報告

1. 人口および高齢者人口

平成28年10月1日現在

大野南地区総人口 29,142人 高齢者人口 6,932人 高齢化率 23.8% (19位 / 29地区中)
 前期高齢者 3,404人 後期高齢者 3,528人

2. 地域の特徴

- ・南区役所や件の合同庁舎があり、南区の中心的地区として商業(商店街、都市型百貨店、ショッピングモールなど)、文化教養(相模女子大学グリーンフォール、ユニコムプラザさがみはら、相模大野図書館、相模女子大学などの教養機関など)、住居(高層住宅、プラザシティ相模大野、ロビーシティなど)などの多様な機能が集約されている。一方、相模大野駅周辺から離れると、戸建ての住宅街が多くなり、一部地域では生活圏域が他地区にまたいでいる。
- ・介護認定を受けるような状態になっても、一人暮らしや高齢者世帯生活している割合が高い。また、サロンやサークルへの参加が活発で、利便性の良さからスポーツクラブなどの民間施設に参加している割合も高い。
- ・要介護者や高齢者の把握ができていない地域がある一方、自治会未加入の集合住宅が増えている。

3. 地域における課題

- ・利便性の高い集合住宅では、自治会がない、民生委員不在という現状がある。また、要介護状態になっても、独居、あるいは高齢者世帯の割合が高い地域である。地域づくり部会において、「各団体などが連携し、支え合う仕組みづくり」、「情報の整理と共有及び発信」という課題が抽出された。
- ・健康意識が高い人も多く、介護予防のニーズが高く、いきいきサロンや自主グループの活動も活発である。「介護予防に資する活動機会の創出」、「担い手育成」が重要である。

4. 活動内容 (新規)

(1) 在宅福祉サービス及び介護保険認定申請代行 住宅改修理由書作成

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在宅福祉サービス	4	6	2	3	1	3	2	5	5	3	2	7	43
介護保険認定	20	19	21	22	20	18	28	14	10	17	15	14	218
住宅改修理由書	2	2	2	3	2	1	3	1	1	0	0	1	18
合計	22	21	23	25	22	19	31	15	11	17	15	15	236

(2) 相談実施内容

相談経由

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
本人	10	9	9	5	7	6	8	6	6	5	12	11	94
家族・親族	23	21	17	13	17	25	20	23	19	14	18	18	228
知人・地域の方	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	7
市関係機関	1	0	1	3	4	2	139	80	7	1	0	1	239
医療機関	5	2	2	4	2	4	0	4	4	4	2	5	38
CM	5	7	3	4	1	3	3	4	3	6	3	6	48
介護保険サービス事業所	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	4
社協・民生委員・ボラン	4	1	2	2	2	3	3	4	10	2	2	1	36
包括	3	2	0	1	1	1	1	1	2	0	0	2	14
その他	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	3	1	10
合計	53	43	35	34	36	46	174	127	51	32	41	46	718

相談方法

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	24	21	18	23	17	21	18	22	28	22	25	22	261
来所	22	20	16	10	18	24	17	22	11	9	15	21	205
その他	7	2	1	1	1	1	139	83	12	1	1	3	252
合計	53	43	35	34	36	46	174	127	51	32	41	46	718

相談内容

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在宅福祉サービス	0	3	2	4	2	1	2	2	2	0	4	4	26
介護保険	31	31	24	26	26	27	24	26	22	18	24	23	302
介護予防	5	2	2	1	0	5	0	2	3	2	0	2	24
認知症	4	4	6	1	0	3	1	9	1	2	5	6	42
医療・保健	1	2	4	2	3	0	4	3	1	2	0	3	25
虐待	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	1	5
権利擁護	1	0	2	0	0	0	1	0	0	2	1	0	7
生活	12	12	8	6	9	13	15	8	5	6	10	7	111
その他	5	5	3	2	2	2	118	84	21	1	4	7	254
合計	59	59	52	42	43	51	165	134	55	35	48	53	796

ひとり暮らし高齢者等電話訪問サービス

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実数	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	4	4	5
総数(延べ)	23	25	24	24	24	24	24	22	22	17	17	20	266
緊急訪問	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3

(3) 権利擁護に関する事業

高齢者虐待	継続件数	1件	終了件数	4件
支援困難ケース	継続件数	4件	終了件数	1件

(4) 包括的継続的ケアマネジメント支援
関係機関との連携

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
医療機関	23	17	19	11	20	19	17	15	29	14	17	23	224
CM	57	78	100	88	57	55	58	68	65	62	56	76	820
本人	112	117	106	121	107	116	123	131	118	117	117	148	1433
家族・親族	34	49	34	32	44	30	45	45	45	44	46	58	506
その他関係機関	76	58	53	61	59	56	52	94	99	73	44	72	797
合計	302	319	312	313	287	276	295	353	356	310	280	377	3780

CM交流会の開催

第1回 コンパス座 合同開催

日時	平成29年8月25日
テーマ	高齢者の住まい
参加人数	65名(ケアマネジャー43名 高齢者相談課5名 各高齢者支援センター17名)
評価	参加したケアマネジャーからは施設の違いを知ることができ、勉強になったとの意見があった。グループワークでは、施設探しに苦労した経験談などを共有することができ

第2回 単独開催

日時	平成29年9月20日
テーマ	情報交換会「ショートステイ」&「特養・有料老人ホーム」
参加人数	25名(ケアマネジャー20名 市社会福祉協議会2名 高齢者支援センター3名)
評価	参加者からは生きた情報を得ることができ、参考になったという声が多くあった。今回の内容は口コミであるため、情報の取扱いについては注意をした。

第3回 単独開催

日時	平成29年11月17日
テーマ	「薬局活用術教えます」～かかりつけ薬剤師のススメ～
講師	かもめ薬局北里健康館 地域連携支援課 野田 和多流氏
参加人数	31名(ケアマネジャー24名 高齢者相談課1名 市社会福祉協議会2名 薬剤師2名 高齢者支援センター2名)
評価	専門的な内容を分かりやすく講義して頂き、またグループワークでは薬剤師に入って頂き、情報の共有などを図ることができた。講義の内容は、具体的な服薬方法の工夫や事例であり、ケアマネジャーの業務に役立つものであった。

第4回 単独開催

日時	平成30年1月17日
テーマ	情報交換会「デイサービス・ヘルパーステーション」
参加人数	32名(ケアマネジャー29名 市社会福祉協議会1名 高齢者支援センター2名)
評価	第2回の交流会が好評で、その第2弾を開催した。参加者からは情報の共有のほか、様々な意見も聞くことができ有益な会となった。今回の内容は口コミであるため、情報の取扱いについては注意をした。

第5回 単独開催

日時	平成30年3月日
テーマ	虐待研修
講師	日本虐待防止研究・研修センター代表 梶川 義人氏
参加人数	27名(ケアマネジャー17名 高齢者相談課1名 市社会福祉協議会1名 高齢者支援センター8名)
評価	事例に基づく講義内容で、全員参加型の演習であり、注意点や支援のあり方等を考えながら学ぶことができた。アンケートでは、全員から満足の評価が上がり、T字分析は業務でも活用できるため、次年度の交流会では、その研修会を開催予定である。

(5) 認知症サポーター養成講座

日時	平成29年4月13日
対象	相模原市南消防署
参加人数	65名
担当職員	2名
内容・評価	テキストに添って、キャラバンメイト及びサポーターの説明、疾患についての講義、認知症の方への接し方（ワーク）を実施した。市が主催となり、各消防署で実施できた企画であった。

日時	平成29年7月4日
対象	三井住友信託銀行相模大野支店
参加人数	6名
担当職員	3名
内容・評価	銀行のATMに戸惑う方を想定しての講義内容。金融機関であり、身近な問題として捉えていただくことができた。グループワークでは個人情報の観点からの意見も出て、家族への連絡ひとつをとっても難しさを考える機会になった。

日時	平成29年10月28日及び11月25日
対象	文京中央自治会理事会
参加人数	17名
担当職員	1名
内容・評価	自治会で取り組めることを考えるきっかけとして開催。自治会員へ認知症サポーター養成講座を周知するなど、今後の取り組みを考えていくことになった。

日時	平成29年11月18日
対象	デイサービスファミリーゴールド
参加人数	13名
担当職員	1名
内容・評価	認知症サポーターになったらどのような活動をしたいか、地域の見守りの中で、ちょっとした手助けが不足しているなどの意見があがった。その手助けができる地域づくりをしたいという意見もあがっている。

日時	平成29年9月20日、10月26日、11月16日、12月7日
対象	ALSOK総合警備保障会社
参加人数	109名
担当職員	3名
内容・評価	認知症の基礎知識を知りたいという要望があり、講義を重点に講座を開催した。グループワークでは、緊急で駆けつけた相手が認知症であることを想定した。包括の対応方法を伝えると、現場の意見を聞くことが参考になったようだ。

日時	平成30年2月14日
対象	大野南中学校2学年
参加人数	39名
担当職員	2名
内容・評価	グループワークでは、何度も同じことを聞く祖母と、怒る孫の寸劇に対し、祖母の気持ち、孫の対応方法について検討をした。気持ちは残るから、話し方には気をつけなければならない、カレンダーなどのツールを使って分かりやすくするなど、認知症を知る良い講座になった。

(6) 地域住民グループ支援事業

いきいきサロン後方支援

サロン名	平均参加人数	支援内容 / 関わり回数	延参加者人数
和みなみおしゃべりサロン	27名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 11回	301名
文京いきいきサロン	12名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 3回	37名
プラザシティふれあいサロン	10名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 11回	119名
旭ふれあい会	21名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 10回	213名
御園1丁目ふれあいサロン	27名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 15回	411名
御園みゆき台ふれあいサロン(住民主体)	14名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 8回	115名
豊町ほほえみカフェ	16名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 11回	173名
大野南サロン	34名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 12回	409名
御園西ふれあいサロン	17名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 4回	67名
御園2丁目サロン	29名	健康に関する情報提供・実態把握・運営支援 / 11回	318名

その他の自主グループ支援(出張)

グループ名	平均参加人数	支援内容 / 関わり回数	延参加者人数
旭町グリーンコーポ お助けネット	12名	百歳体操の普及、支援・実態把握 / 10回	115名
えがおシェア上原 (住民主体)	10名	百歳体操の普及、支援・実態把握 / 5回	48名
老人クラブ 御園あ じさいクラブ	17名	介護予防に関する情報提供・実態把握 / 1回	17名
老人クラブ 御園弥 生会	18名	健康に関する情報提供・実態把握 / 8回	144名
オレンジカフェ	8名	運営のアドバイス・実態把握 / 11回	90名
エイジフリーハウス 百歳体操会	20名	運営のアドバイス・実態把握 / 6回	118名
老人クラブ 京寿会	15名	運営のアドバイス・実態把握 / 1回	15名
老人クラブ 相模大 野一丁目つどい	14名	介護予防に関する情報提供・実態把握 / 5回	66名

フリースペースで開催する自主グループ支援

グループ名	平均参加人数	支援内容 / 関わり回数	延参加者人数
健美体操	16名	運営のアドバイス・実態把握 / 10回	155名
体操教室	15名	運営のアドバイス・実態把握 / 8回	122名
小物作り	10名	先生役の高齢者と共に運営 / 11回	117名
切り絵教室	5名	先生役の高齢者と共に運営 / 10回	47名
ウクレレ教室	3名	先生役の高齢者と共に運営 / 11回	41名
ウクレレ同好会	6名	運営のアドバイス・実態把握 / 11回	70名
高齢者ヨガ教室	15名	運営のアドバイス・実態把握 / 11回	170名
あらこき会	8名	運営のアドバイス・実態把握 / 10回	88名
健康マージャン教室	17名	地域の高齢者に講師とボランティアを依頼 / 23回	386名
マージャン同好会	13名	マージャン教室から自主化に向けて開催 / 23回	302名

フリースペースで開催する独自事業

グループ名	平均参加人数	支援内容 / 関わり回数	延参加者人数
ころばん体操	11名	介護予防体操教室。職員と悠遊シニアスタッフで運営 / 44回	474名
ふらっと体操	11名	上級者向けの体操教室。PTが担当 / 22回	245名

家族介護教室
ほっとサロン会

日時	参加人数	内容
H29. 4. 5	12名	お花見
H29. 6. 21	17名	介護技術講習会
H29. 9. 15	13名	茶話会
H29. 12. 22	12名	忘年会
H30. 2. 28	12名	交流会（落語と茶話会）

(7) 介護予防ケアマネジメント事業

要支援者のプラン作成

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
包括	59	59	57	57	63	69	73	76	71	79	79	70
CM委託	143	143	148	164	159	154	149	152	146	155	151	156
合計	202	202	205	221	222	223	222	228	217	234	230	226

(8) 地域ケア会議

個別事例地域ケア会議

日時	参加者	会場	事例概要	結果
H29. 8. 7	16名 ボランティア団体・市社会福祉協議会・介護保険事業所・南相談課・医師・弁護士・警察・公園管理・相談員・包括職員4名	南保健福祉センター	交通事故を引き起こす危険性が高い高齢者に関し、支援方針と役割分担を検討する。	・支援困難事例として今後支援する ・医師との面談の機会を設定する。
H29. 8. 18	8名 医師・警察・相談員・南高齢者相談課・包括職員2名	淵野辺公園	上記の件に関し、医師を中心に本人の状況を確認し、今後の方針を明確にする。	・支援困難事例として今まで本人と関わっている関係機関で、今後の対応についての会議を開催する。
H29. 9. 8	8名 民生委員・自治会・包括職員1名	御園一丁目自治会館	上記の件に関し、地域住民への報告と、住民が不安に感じていることの聴取	・本人との関係性のあ る関係機関を基に、本人が望んで支援を求め るような取り組みを検 討し、対応していく。

地域づくり部会

日時	参加者	会場	概要	結果
H29. 6. 6	22名 民生委員・自治会・老人クラブ・ボランティア団体・市社協・地区社協・事業所・まちづくりセンター・地域包括ケア推進課・高齢者相談課・包括職員2名	大野南公民館	・第7期保健福祉計画策定について ・昨年度の開催結果及び各地区テーマの取り組み状況について	第7期保健福祉計画では、高齢者実態調査及び、委員からの情報を基に、地域課題を検討した。
H29. 7. 18	19名 民生委員・自治会・老人クラブ・ボランティア団体・市社協・地区社協・まちづくりセンター・地域包括ケア推進課・高齢者相談課・包括職員2名	大野南公民館	・第7期保健福祉計画策定について ・高齢者地域情報誌の発行について	圏域ごとで地域課題に違いがあることもあり、各圏域ごとで今後の活動や取り組みについて検討することになる。
H29. 9. 7	19名 民生委員・自治会・老人クラブ・ボランティア団体・市社協・地区社協・事業所・まちづくりセンター・地域包括ケア推進課・高齢者相談課・包括職員2名	大野南公民館	・第7期保健福祉計画策定について（報告） ・大野南地区、上鶴間地区の今後の取り組みについて	大野南地区では、地域で支え合う連携の仕組みづくり、上鶴間地区では、鹿島台小学校での交流の場づくりを取り組む。
H30. 2. 27	19名 民生委員・自治会・老人クラブ・ボランティア団体・公民館・市社協・地区社協・まちづくりセンター・地域包括ケア推進課・高齢者相談課・包括職員2名	大野南公民館	・平成30年度の事業計画について	今までの会議で検討したことに対し、具体的な取り組み案を提示した。地域の課題にそぐわない面も指摘され、次回以降に持ち越し。

5. 会議、研修

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運営会議					1						1		2
職員連絡会議					1						1		2
南地区連	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	11
ケースカンファレンス	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
その他会議	5	2	4	5	3	5	4	6	2	1	4	2	43
※その他の会議への参加 【地区社協役員会・まちづくり会議（地域づくり部会含む）・地域福祉推進委員会・地域密着型サービスにおける運営協議会・コンソーシアムあり方委員会・東林地区医療福祉連携ネットワーク】													
研修	3	3	3	5	4	5	5	1	3	1	1	2	36

6. 結果及び評価

- ①理学療法士と生活支援コーディネーターが連携を図り、多様なサービスの創出に向けての活動の場作り、担い手育成で成果を上げることができた。健康意識が高い高齢者が多い地域であり、今後も住民の力を活かす活動を推進させていきたい。
- ②経験年数の少ない職員がいる中で、三職種や他の専門職と相談を行いながら支援、業務に取り組むことができた。ケアマネジメントでは、自立支援を目標に、社会参加のできる場作りや人材育成と連動できることが今後の課題と思われる。
- ③権利擁護では、成年後見制度などの推進ができたが、消費者被害は県内でも被害件数の多い地域であり、今後は被害に遭わないように予防していく取り組みを検討していく必要がある。

平成 29 年度 上鶴間地域包括支援センター 事業報告

I 基本目標

「いきいきと充実した生活をおくることができる高齢社会の形成」に基づき、地域の中核的機関としての役割を担い、身近な相談窓口として、些細なことでも気軽に相談できる、地域に根ざした地域包括支援センターを目指し業務を遂行した。

II 基本方針

地域包括支援センターが中心となって高齢者を支える地域包括ケアシステムを構築するために、相模原市の運営方針に則り、①総合相談支援業務における個別相談支援の強化 ②介護予防・生活支援サービスの適切かつ積極的な活用 ③認知症の人及びその家族への支援の強化 ④多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築の強化と在宅医療・介護連携の推進 ⑤一般介護予防事業の推進 ⑥地域包括ケアシステムの構築及び深化に向けた地域づくりの推進 を行っていく方針のもと、積極的に地域の団体（民生委員・自治会・老人クラブ・ボランティア団体・ケアマネジャー等介護サービス事業者・医療関係者等）の会議・研修・サロン等に参加し、地域のネットワークづくりに努めながら、関係性を深め、身近な相談窓口として認識してもらえよう事業に取り組み、良好な関係が継続できている。

担当地区は若い世代が増え、高齢化率は市内で一番低い。しかしながら、高齢者数は南区内で一番多く、相談も増えている。複合化・複雑化した課題を抱えるケースも増加しており、各関係機関と連携・協力して早期対応に努めた。

III 活動内容

1. 総合相談支援

(1) 在宅介護等に関する総合相談

総合相談件数 640 件

(2) 要援護高齢者等の実態把握業務

要援護高齢者または要援護となる恐れのある高齢者の心身状況や生活環境等について実態把握を実施、また戸別訪問による実態把握への協力および把握された要援護高齢者等について支援を行った。

訪問件数 1769 件

(3) 保健福祉サービス等の申請代行

申請代行件数 243 件

在宅福祉サービス代行申請件数 43 件

(4) 地域住民グループ支援事業

高齢者の健康づくりや社会的孤立を防ぐ活動を行っている地域住民グループに対する支援件数 136回

ふたばミニサロン、ひまわりの会、みんなのサロン、中和田サロン、南新町サロン、谷口サロン、谷口第1寿会、谷口第3寿会、中和田寿会、鶴舞むつみ会、南新町むつみ会、木ころ、おしゃべりタイム、ちょこっと体操、健康マーじゃん、おれんじカフェ（認知症カフェ）、幸友会（シニアのための健康体操）フレンド・あゆみ・もみじ（ウォーキング倶楽部） など

2. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

	総件数	総合事業件数 (介護予防ケアマネジメント)	予防給付件数 (介護予防支援)
4月	252	159	93
5月	255	157	98
6月	259	164	95
7月	266	170	96
8月	265	167	98
9月	282	171	111
10月	272	169	103
11月	283	175	108
12月	268	167	101
1月	284	160	124
2月	275	157	118
3月	274	151	123
年合計	3235件	1967件	1268件

3. 一般介護予防事業

教室名	回数	延べ参加人数
出張型介護予防教室	5回	104名
地域型認知症予防教室	1回 公開講座1日 講義実施5日	55名
地域介護予防教室(コース)	1回 4日間	96名
地域介護予防教室(単発)	4回	98名
地域介護予防教室(フォローアップ)	1回	13名
合計		366名

介護予防サポーター支援事業（悠遊スタッフ）

交流会	3回	7名
研修会	4回	14名
合計	7回	21名

4. 権利擁護に関する相談支援

虐待・支援困難ケースでは、民生委員や自治会および地域住民、介護支援専門員を始めとした介護事業者や医療機関等との連携を密にし、幅広く情報を得て早期発見に努めた。複合化・複雑化した課題を抱えるケースが増加しており、虐待・支援困難ケースとして検討を重ね、チームアプローチによる支援を進め、各関係機関と連携・協力しながら解決に繋げた。

また相談においては常に権利擁護の視点を持ち、必要に応じて成年後見制度の活用等説明、行政書士、司法書士等と連携を図った。

- ・虐待・支援困難ケース会議 9名18回
- ・成年後見制度 6件

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

(1) 地域の介護支援専門員との連携

- ・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所交流会の開催

1回目：7月26日（4包括共同開催）

「モニタリングの視点・工夫や便利なツールについて」

2回目：2月21日（上鶴間包括単独開催）

「訪問看護との連携・活用について」

講師：東芝林間病院 言語聴覚士 和田妙子氏

林間訪問看護ステーション 管理者 橋本美智子氏

- ・ケアマネジャーからの相談件数 初回相談 65件
- ・ケアマネジャーとの連携 継続支援 1358件

6. 地域ケア会議の開催

(1) 個別事例部会

個別の事例を取り上げ、本人を取り巻く地域を含む関係者が集まり、課題解決や本人支援のための具体的な連携を図った。29年度は前年度から引き続き、地域から相談のあった認知症・周辺症状のケースを取り上げた。今までは、困難ケースを取り上げることが多かったが、今後はそのようなケースに限らず、地域住民の生活上の身近な困りごととも取り上げて回数を重ね、地域課題の把握に努めたいと考える。

(2) 地域づくり部会

「まちづくり会議の専門部会」という形で、大野南高齢者支援センターと合同で開催してきたが、それぞれの地域課題が異なることもあり、取組みが停滞していた。その中でも独自に分科会・小地域ケア会議を開催、特に『集いの場』の少ない地域において情報収集を行い、その結果、上鶴間の課題の1つである『集いの場』の把握を進めることができた。引き続き、生活支援コーディネーターと協力・連携して取組みを進めていく。

7. 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

地域全体で高齢者を支えていく体制づくりを支援するため、自治会、民生委員、老人クラブ、ボランティア、地区社協、介護支援専門員を始めとする介護サービス事業者等及び市の関係機関との連携を図り、関係を深めた。

また、地域医療関係者とも退院後の在宅支援、虐待の通報、外来患者の生活支援等で連携し対応を行った。認知症についての病院からの相談も増加傾向である。

- ・医療機関からの相談件数 66件
- ・医療機関との連携 398件

8. 情報提供および啓発

(1) 積極的な情報提供および啓発活動

地域の行事に積極的に参加し、各種情報提供および啓発活動を行った。

	日付	開催内容	内容
1	平成 29 年 8 月 19 日	ふるさとまつり (谷口中学校)	手づくりうちわ、握力測定 of 企画でまつりに参加し、高齢者支援センターの周知・出張相談を行った。 支援センターブース来場者数 533名
2	平成 30 年 3 月 11 日	公民館まつり (上鶴間公民館)	握力測定・骨密度測定・貼り絵の企画でまつりに参加、高齢者支援センターの周知・出張相談を行った。 支援センターブース来場者数 200名

(2) 高齢者地域情報誌等の作成・配布

地域情報誌は地域高齢者に配布のほか、公的機関、医療機関、クリニック、薬局、金融機関、スポーツジム、スーパー等に設置協力いただいた。センター独自の情報紙(上鶴間通信・年4回発行)を自治会協力のもと、各戸回覧や掲示板への掲示をして、各種情報提供及びセンターの周知を行った。

(3) 家族介護教室の開催

家族介護教室（ほっとサロン会）は年3回開催した。

内容	参加者数	場所
7/19 セミナー 「プロから学ぶ高齢者施設の種類と選び方」	31	南区地域福祉交流ラウンジ
11/17 施設見学会	6	ガーデンテラス相模大野
1/17 ミニ落語と茶話会	13	南区地域福祉交流ラウンジ

9. 認知症施策の推進

(1) 認知症サポーター養成講座

依頼を受け、大野南地区民生委員児童委員協議会、町田ハイツ自治会にて開催したほか、鹿島台小学校を借りて開催し、延べ93名の参加があった。

(2) 認知症カフェ

高齢者支援センターのフリースペースにて『おれんじカフェ（認知症カフェ）』を継続し、認知症者の力を発揮できる機会となっている。また、鹿島台小学校を借りて『鹿島台カフェ（1日認知症カフェ）』を開催して、世代間交流も図ることができた。

10. その他各種事業

(1) 戸別訪問事業

70歳以上のひとり暮らし高齢者等のうち、民生委員が生活状況を把握していない人を中心に戸別訪問・面談を行う事業で、民生委員不在地区の152人への訪問を含む166人に対してセンターが対応した。

(2) 高齢者住宅（あじさい住宅上鶴間、ヴィアンフォーレ鶴舞）との関わりの強化

あじさい住宅は毎月、ヴィアンフォーレ鶴舞は隔月にLSA会議を開催、援助員、民生委員、包括で情報共有を行い、必要時には迅速な対応を取れる体制を整えた。

IV 業務体制

1. 職員の資質の強化

職員の経験及び専門性に応じた市及び市外研修に積極的に参加し、得た知識・技術については、センター内で伝達・共有を図り、センター全体のスキルアップを図った。毎月の包括ミーティングの他、毎夕礼時にカンファレンスを行い、常時職員間で情報を共有し、センターとしての対応の意識統一を図った。

2. 運営管理体制の強化

苦情は速やかに管理者および運営法人責任者へ報告・連絡・相談し、迅速に対応できる体制を整えている。今年度、市へ提出した苦情はない。

3. 上鶴間地域包括支援センターの体制作り

複合化・複雑化した課題を抱えるケースが増えている。権利擁護の視点、認知症のアセスメント力を職員全体でさらに高め、早期発見・対応を図り、各関係機関と顔の見える関係をつくり、連携・協力していけるようにしている。